

三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等 評価結果

【目次】

1 概要

1 ページ

2 三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策 評価結果

施策 No.	重点施策 名称	ページ
1	農業、漁業、観光業の連携による観光振興	2 ～ 5
2	経営支援・企業誘致	6 ～ 9
3-1	水産業・農業・商工サービス業の振興（水産業関係）	10 ～ 13
3-2	水産業・農業・商工サービス業の振興（農業関係）	14 ～ 17
3-3	水産業・農業・商工サービス業の振興（商工サービス業関係）	18 ～ 21
4	ライフステージ・ライフスタイルに応じた多様な居住の促進	22 ～ 25
5	子育て世代の経済的負担軽減	26 ～ 30
6	子育て世代のワークライフバランスの推進	31 ～ 35
7	出会いの創出	36 ～ 38
8	三浦らしい海洋教育の実践	39 ～ 43
9	市民の健康や体力の増進策	44 ～ 48
10	介護予防と見守り	49 ～ 52
12	空き家対策	53 ～ 56
13	中心核交流機能の育成	57 ～ 60
16	DXによる住民サービスと業務効率の向上	61 ～ 64

3 地方創生関連交付金事業 評価結果

事業 No.	事業名称	ページ
1	三浦半島魅力深化プロジェクト事業	65 ～ 67

1 概要

(1) 三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策 評価結果概要

令和6年度に実施した三浦みらい創生プラン（総合戦略）の重点施策（基盤整備のための重点施策11, 14及び15を除く。）について、下記の基準に基づき内部評価及び三浦市総合計画審議会において外部評価を実施した。

評価			評価結果（施策数）	
評価判定	基準1	基準2	内部評価	外部評価
	K P I 達成状況	課題改善の取組状況		
5	目標達成しています。	全部達成 ○	3施策	3施策
4	目標は、一部達成し、課題改善の取組も明確です。	一部達成 △	6施策	6施策
3	目標は、全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	全部未達成 ×	6施策	6施策
2	目標は、一部達成しましたが、課題改善の取組は不明確です。	一部達成 △	0施策	0施策
1	目標は、全て未達成で、課題改善の取組も不明確です。	全部未達成 ×	0施策	0施策
計			15施策	15施策

(2) 地方創生関連交付金事業 評価結果概要

令和6年度に地方創生関連の交付金を活用した1事業について、国に提出する効果検証結果報告様式の基準に基づき内部評価及び三浦市総合計画審議会において外部評価を実施した。

評価		評価結果（事業数）	
評価判定	評価の例	内部評価	外部評価
4	地方創生に非常に効果的であった	0事業	0事業
3	地方創生に相当程度効果があった	1事業	1事業
2	地方創生に効果があった	0事業	0事業
1	地方創生に対して効果がなかった	0事業	0事業
計		1事業	1事業

施策評価シート

基本目標	<p>基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」</p> <p>就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。</p> <p>また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。</p>	数値目標	<p>個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人</p> <p>【R03実績】16,113人</p> <p>【R04実績】15,956人</p> <p>【R05実績】15,944人</p> <p>【R06実績】15,814人</p>
------	--	------	---

施策No.	基本的方向	評価実施年度				
1	<p>農業、漁業、観光業の連携による観光振興や三浦ブランドの開発など、市内外の事業者の取組みや、異業種間の交流を支援し、6次経済の構築を進めます。</p> <p>市外での物産展出演や市内での各種イベントの開催等のシティ・セールス実践活動により三浦市の魅力を発信するとともに、集客力をさらに向上させます。</p> <p>もてなしをテーマとする人材育成や市民活動を促進し、もてなしの活動に協力・参加している市民を増やします。</p> <p>観光施設、回遊ルート、観光案内表示板等の集客に必要な環境や、駐車場や公衆トイレ等の便利で快適な環境を適切に維持・向上させ、集客力をさらに強化します。</p>	2025	R07			
具体的な施策	<p>入込観光客数、観光客消費額を増加させ、観光の産業化・雇用創出を図るため、新たな観光資源の開発・創造、戦略的な営業の実施、観光の核づくりを推進する城ヶ島西部地区再整備に必要な支援を行うとともに各種イベントの実施（三浦国際市民マラソン、みうら夜市、海の駅うらりを活用したイベント、ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会など）、インフラ整備（観光解説板整備等）などを行います。</p>	評価担当部課	<p>経済部 観光商工課 もてなし課 海業水産課</p> <p>市長室</p>			
事業名	<p>海業推進事業 みうらシティ・セールス事業 みうらの魅力発信事業 観光の核づくり推進事業 観光の核づくり推進事業（道路） 地域観光振興・情報発信事業 観光団体支援事業 観光解説板整備事業 三崎下町地区駐車場対策事業 観光インフォメーションセンター管理事業 観光の核づくり推進事業（広場）</p>	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			R03	49,345	43,992	89.2%
			R04	337,702	318,745	94.4%
			R05	345,549	241,760	70.0%
			R06	216,166	169,378	78.4%
			R07	133,357		
			計	1,082,119	773,875	/

施策評価シート

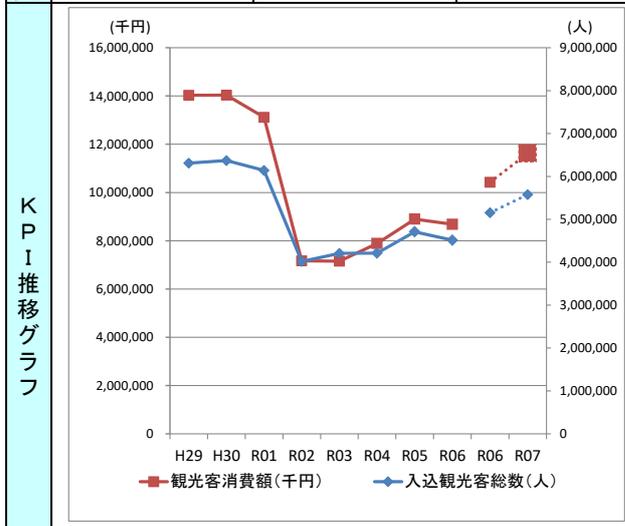
内部評価（1次評価）	
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫	<p>1：海業推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の駅の魅力・まちの魅力を広域的に発信することを目的として㈱三浦海業公社が実施する「みうら・みさき海の駅“うらり”セールスプロモーション」を支援した。 ・うらりマルシェを拠点とするイベントとしては、海業発祥のまちとして情報発信を行う「海業フェスタ @みうらみさき海の駅」が開催され、他にもうらりマルシェのデッキを活用した集客イベントが開催された。 ・また、姉妹都市である須坂市や道の駅・海の駅との連携による集客プロモーションイベントが実施された。 ・（一社）みうら学・海洋教育研究所と連携により、市内の小中学生が海に親しむ機会の創出に取り組み、市内の小中学生が三浦市の海の魅力を再発見するとともに、海の魅力を発信する市民の増加を図り、海の駅「うらり」のみならず、三浦市の魅力の発信力の強化が図られた。 <p>2：みうらシティ・セールス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行向けのパンフレットを見直し、一般客向けの料金も併記することとした。 ・このことに伴い、教育旅行を扱う支店以外にも対象を広げて、資料送付を行った。 ・教育旅行受入れ167校（前年度152校 前々年度129校） <p>3：みうらの魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 【ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会】 ・横須賀市津久井浜海岸で開催される「ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」の実行委員会に参画し、大会を開催した。（会場来場者数33,000人） 【地場産品消費拡大】 ・市外、県外の消費者にまぐろ・野菜等の三浦市の特産品を広く宣伝するため、三浦市地場産品消費拡大協議会と連携して物産展に参加した。 【みうら夜市】 ・港町三崎・夏の風物詩として定着した「みうら夜市」について、前回台風により中止になったことや、近年の酷暑を踏まえ、開催時期を10月に変更して5年ぶりに開催した。 ・「昭和レトロ港町灯りのイベント～灯ろうナイトウォーク」を同時開催し、両イベントの相乗効果を図った。（来場者数32,000人） 【三浦国際市民マラソン】 ・全国から参加されるランナーや応援の方々を心から歓迎し、大会を開催した。（来場者数73,000人） 【三崎木遣みこしパレード】 ・第3回目となる「三崎木遣みこしパレード」に協力、支援し、下町全体が賑わいと活気に満ちた一日となった。（来場者数4,500人） <p>4：観光の核づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二町谷地区における海業プロジェクトを推進するため、事業者と共催でPRイベントを実施し、全長100フィート以上のスーパーヨットを誘致した。 <p>5、11：観光の核づくり推進事業（道路、広場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税を活用し城ヶ島西部地区のまちづくりを推進した。 【道路】 ・市道1530号拡幅整備に必要な用地取得に向けた協議を行い、合意に至った用地1箇所を取得した。 ・市道1530号拡幅整備工事を2箇所実施した。 【広場】 ・広場整備に必要な用地取得について、地権者である神奈川県との協議に時間を要し、用地取得には至らなかった。 ・これに伴い、設計業務は未実施とした。 <p>6：地域観光振興・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光行事では、道寸祭り、みさき白秋まつり、三浦海岸納涼まつり花火大会、三崎港町まつり及び三浦海岸桜まつりのイベント開催支援を行った。 ・集客促進に資する事業では、海水浴場が開設されなかった三浦海岸において、令和7年度以降の新たな手法による海水浴場の開設や通年の海岸利活用について検討、海水浴場や海岸利活用に係るタイムシフトの必要性やターゲットに喜ばれるイベント等に係る実証実験として「MIURA BEACH うみあかり」を4日間開催した。（来場者数2,300人） <p>8：観光解説板整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の回遊性の向上と滞在時間の延長による観光客消費額の増加を図るため、平成30年度に策定した「ぐるっと三浦・まちなかトータルサインプラン」に基づき、油壺に所在する観光案内板を1基移設、移設先の観光案内板1基を撤去した。

施策評価シート

構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
No	事業名	主な取組・成果	No	事業名	主な取組・成果
1	海業推進事業	市外向けプロモーションイベントの実施：1回 (一社)みうら学・海洋教育研究所との連携事業実施：1件	2	みうらシティ・セールス事業	教育旅行受入れ：167校 観光バスうらり駐車台数：1,052台 インバウンドツアー及び海外からの修学旅行受入れ：0件
3	みうらの魅力発信事業	三浦国際市民マラソン・みうら夜市・ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会の開催：各1回 物産展等の実施：10回	4	観光の核づくり推進事業	城ヶ島西部地区まちづくりプロジェクトの推進に必要な関係機関との調整：1件 二町谷地区でのブランディングイベントの実施支援：1件 スーパーヨットの誘致活動の実施：1件
5	観光の核づくり推進事業(道路)	道路拡幅に必要な一部用地取得の完了：1件 市道1530号拡幅整備の推進：整備率84.3%	6	地域観光振興・情報発信事業	イベント開催支援：5件 観光資源を活用した集客促進事業：1件
7	観光団体支援事業	補助金交付：1件	8	観光解説板整備事業	観光案内板の移設：1基 観光案内板の撤去：1基
9	三崎下町地区駐車場対策事業	新たな駐車場スペース確保に向けた検討：1件 臨時駐車場確保：1箇所	10	観光インフォメーションセンター管理事業	観光案内所窓口運営：3か所
11	観光の核づくり推進事業(広場)	広場設計業務の実施：0件 広場整備に必要な用地取得の完了：0件		三浦海岸海水浴場再生事業	(目標設定なし)

KPIの進捗状況

年	KPI①		KPI②		KPI③		KPIの分析
	入込観光客総数(人)	備考	観光客消費額(千円)	備考			
H29	6,311,000	実績値	14,029,501	実績値			<p>・コロナ禍の影響があった令和2年の実績見込みを令和3年の目標とし、令和8年までの5年間でコロナ前の水準に戻すことを想定して目標を設定した。</p> <p>KPI①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年の実績(内訳)は以下のとおり。 (1) 宿泊：実績275,800人 (前年比±0人 ±0.0%) (2) 日帰り：実績4,238,500人 (前年比-194,500人 -4.4%) (3) 合計：実績4,514,300人 (前年比-194,500人 -4.1%) <p>・観光客数は、コロナ禍により大きく減少した令和2年以降、増加傾向で推移してきたが、令和6年は、主に、三浦海岸海水浴場の不開設や、三浦海岸桜まつりの来場者数減少に伴い減少した。</p> <p>KPI②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年の実績(内訳)は以下のとおり。 (1) 宿泊：実績2,454,133千円 (前年比+2,870千円 +0.1%) (2) 日帰り：実績6,227,958千円 (前年比-217,610千円 -3.4%) (3) 合計：実績8,682,091千円 (前年比-214,740千円 -2.4%) <p>・観光客消費額は、令和3年以降増加傾向で推移してきたが、KPI①と同様に、三浦海岸海水浴場の不開設等による観光客数減少に伴い減少した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰り客数が減少した一方で宿泊客数は横這いとなっており、これにより、観光客数の減少率(-4.1%)よりも消費額の減少率(-2.4%)が小さくなっている。 ・一方で、KPIの達成率では、観光客数は87.6%、消費額は83.3%と、消費額の方が低くなっている。 ・KPIは新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準に戻すことを目指しているが、市内宿泊施設の受入人数が減少していることが、消費額の達成率が低かった要因の1つであると考えられる。
H30	6,370,900	実績値	14,034,471	実績値			
R01	6,139,600	実績値	13,115,183	実績値			
R02	4,017,500	実績値	7,170,679	実績値			
R03	4,208,200	実績値	7,153,673	実績値			
R04	4,211,100	実績値	7,888,254	実績値			
R05	4,708,800	実績値	8,896,831	実績値			
R06	4,514,300	実績値	8,682,091	実績値			
R06	5,153,000	目標値	10,422,000	目標値			
R07	5,577,000	目標値	11,620,000	目標値			
達成状況	×		×				



(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)

施策評価シート

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以降、増加傾向で推移してきた入込観光客数及び観光客消費額が、主に、三浦海岸海水浴場の不開設や三浦海岸桜まつりの来場者数減少に伴い減少に転じている。減少の主な要因となったイベント等への対策と継続した集客プロモーションが必要である。 <p>2：みうらシティ・セールス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い集客につながるような営業手法を実施すること。 ・インバウンドに効果的に取り組むこと。 <p>3：みうらの魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心なイベントを開催し、一年を通じて定期的に来訪するきっかけづくりを進めること。 <p>4、5、11：観光の核づくり推進事業（道路・広場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城ヶ島西部地区の魅力向上を図り、集客力を強化する必要がある。 <p>7：地域観光振興・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光行事が安定的に開催されるよう各行事を継続的に支援すること。 ・観光資源を活用した新たな取組を実施すること。 <p>12：三浦海岸海水浴場再生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年賑わいを生み出してきた三浦海岸海水浴場をはじめ、年間を通じた三浦海岸の利活用を通じて観光誘客を図ること。
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：海業推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海業発祥のまち」として、「海業」を前面に打ち出した集客プロモーション等をメディアを活用し効果的に取り組むことにより、入込観光客数の増加と観光客消費額の増加を図る。 <p>2：みうらシティ・セールス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行のみならず、一般客向けの情報も盛り込んだパンフレットを作成し、ターゲットとなる都内や県内を中心にシティ・セールスを行い、持続的かつ効果的な誘客に努める。 ・インバウンドでは、県や他自治体と協働し、台湾など日本へのリピート率の高い国や地域をターゲットに取り組む。 <p>3：みうらの魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催に当たっては、昨今の物価高騰などの影響から、従来の開催手法が難しくなっている。 ・こうしたことを受けて、今後引き続き、既存の手法に拘らない新たな手法を検討し、安全で安心なイベントの開催に努める。 <p>4、5、11：観光の核づくり推進事業（道路・広場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューリック株式会社が整備するふふ城ヶ島と一体で、市道1530号拡幅整備等を着実に進めることにより、地域の魅力向上と集客力の強化を図る。 <p>7：地域観光振興・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光行事の収支状況や成果等を踏まえ、各行事への支援拡充を検討する。 ・令和7年度は、集客促進に資する事業として、夏の三浦海岸エリアを舞台に、三浦半島の周遊に繋げることを目的としたアートプロジェクトを開催する。 <p>その他：三浦海岸海水浴場再生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度は「MIURA FUN BEACH三浦海岸」という愛称のもと、三浦海岸海水浴場の従来からの魅力（広い砂浜、電車・車でのアクセスの良さ、安全かつ家族で訪れやすい海岸）を生かしつつ、海の家がない中で「コンフォータブルステイ（快適な滞在）」の環境づくり、「食」、「ビーチスポーツ」、「音楽」及び「文化」コンテンツの提供により新たな魅力を持つ海水浴場として再生する。 ・また、秋から冬の賑わい創出イベントも実施する。
内部評価結果	
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見
		・外国人客が増加するようSNS等を活用した情報発信の取組をお願いします。

施策評価シート

基本目標	<p>基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」</p> <p>就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。</p> <p>また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。</p>	数値目標	<p>個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人</p> <p>【R03実績】16,113人</p> <p>【R04実績】15,956人</p> <p>【R05実績】15,944人</p> <p>【R06実績】15,814人</p>
------	--	------	---

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07																												
2	<p>市内への企業誘致に取り組むとともに、新規や既存の事業者の経営支援や企業間交流の機会づくりなど、営業を継続しやすい環境を整備し、事業活動の活性化を図ります。</p>	2025	R07																												
具体的な施策	<p>新たな雇用創出と地域の活性化を目的とした「三浦市二町谷地区海業振興を目指す用地活用プロジェクト」に基づき、事業者による事業が円滑に進むよう、引き続き事業者と連携を図っていきます。</p> <p>旧三崎中学校跡地等城山地区事業用地の利活用に向けた取組を進めます。</p> <p>また、営業の継続による地域経済の活性化を図るため、創業や事業承継を支援するためのセミナーの開催や相談対応を行うとともに、中小企業の経営健全化と事業拡大による市内経済の活性化を図るため、神奈川県中小企業制度融資を受けた事業者に対し、補助を行います。</p>	市長室 経済部 もてなし課																													
事業名	<p>企業等誘致プロモーション事業 城山地区利活用事業 創業・事業承継等中小企業支援事業</p>	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #fce4ec;">年度</th> <th style="background-color: #fce4ec;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #fce4ec;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #fce4ec;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">R03</td> <td style="text-align: center;">20,371</td> <td style="text-align: center;">5,471</td> <td style="text-align: center;">26.9%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R04</td> <td style="text-align: center;">16,248</td> <td style="text-align: center;">13,153</td> <td style="text-align: center;">81.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R05</td> <td style="text-align: center;">3,651</td> <td style="text-align: center;">1,469</td> <td style="text-align: center;">40.2%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R06</td> <td style="text-align: center;">1,419</td> <td style="text-align: center;">746</td> <td style="text-align: center;">52.6%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R07</td> <td style="text-align: center;">916</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">42,605</td> <td style="text-align: center;">20,839</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	R03	20,371	5,471	26.9%	R04	16,248	13,153	81.0%	R05	3,651	1,469	40.2%	R06	1,419	746	52.6%	R07	916			計	42,605	20,839	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
R03	20,371	5,471	26.9%																												
R04	16,248	13,153	81.0%																												
R05	3,651	1,469	40.2%																												
R06	1,419	746	52.6%																												
R07	916																														
計	42,605	20,839	/																												

施策評価シート

内部評価（1次評価）						
R6年度の主な取組と工夫（実績）	<p>1：企業等誘致プロモーション事業 ・二町谷地区における海業プロジェクトを推進するため、海の玄関口として整備した二町谷浮棧橋と事業用地を繋ぐ西側荷捌き施設等の活用手法等について関係機関との協議を行うとともに、事業者と共催でPRイベントを実施した。</p> <p>2：城山地区活用事業 ・令和5年度に売却が完了した旧三浦市福祉会館と旧三崎中学校校体育館の利活用に向け、建物の用途変更等に関する支援を行った。</p> <p>3：創業・事業承継等中小企業支援事業 ・三浦商工会議所や地域金融機関等と連携して、創業を希望している方や創業後間もない方等を対象とした「創業応援セミナー」を開催した。（参加者11名） ・また、横須賀市等と連携して、事業承継を控えた若手後継者、創業希望者や創業後間もない方を対象とした「新規事業開発無料セミナー」を開催し、事業承継の推進、創業の支援を図った。（三浦市に事業所がある参加者2名） ・創業支援等事業計画に基づき、国・県・市の支援施策の紹介や商工会議所等の支援機関の紹介を行った。また、特定創業支援等事業の要件を満たした者を市が証明することで、会社設立時の登録免許税軽減等の様々な支援を受けることができる制度を、相談の際や市ホームページで周知し、証明の発行を行った。 ・神奈川県信用保証協会の保証を受けて、小規模クイック融資、小口零細企業保証資金、創業支援融資及び事業承継関連融資を受けた事業者に対し、払い込んだ信用保証料の1/2（限度額あり）を補助し、中小企業者が融資を受けやすい環境づくりを行い、経営の健全化を図った。</p>					
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
	No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	企業等誘致プロモーション事業	西側荷捌き施設等の活用に向けた関係機関との協議実施：1件	2	城山地区利活用事業	事業者が行う用地利活用の支援：1件	
3	創業・事業承継等中小企業支援事業	セミナーの開催：2回 補助金交付：17件	4			
5			6			

施策評価シート

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	二町谷埋立地の企業立地達成状況(多目的活用事業用地)	備考	二町谷埋立地の企業立地面積割合(水産関連施設事業用地)(%)	備考	市内に市が関与して新たに創出する創業者数(件)	備考	
H29	-	実績値	6.5	実績値		実績値	<p> ◆ 二町谷埋立地の企業立地面積割合(水産関連施設事業用地)(%) ■ 市内に市が関与して新たに創出する創業者数(件) </p>
H30	-	実績値	21.8	実績値	1	実績値	
R01	-	実績値	25.6	実績値		実績値	
R02	-	実績値	61.3	実績値	2	実績値	
R03	浮棧橋の供用開始及び事業者による北公園の整備	実績値	100.0	実績値	2	実績値	
R04	事業者による浮棧橋の管理棟設置	実績値	100.0	実績値	5	実績値	
R05	事業者によるPRイベントの開催	実績値	100.0	実績値	5	実績値	
R06	事業者による小規模宿泊施設の工事未着工	実績値	100.0	実績値	4	実績値	
R06	事業者による小規模宿泊施設の工事着工	目標値	63.6	目標値	1	目標値	
R07	事業者による小規模宿泊施設の開業	目標値	83.9	目標値	1	目標値	
達成状況	×		○		○		(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)
KPIの分析	<p>KPI①</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設費の高騰等により、多目的活用事業用地における施設整備着工には至らなかった。 <p>KPI②</p> <ul style="list-style-type: none"> 水産関連事業用地では、令和3年度中にすべての用地について契約を締結した。 <p>KPI③</p> <ul style="list-style-type: none"> 8か所の創業支援機関のうち、ワンストップ相談窓口である三浦商工会議所外4機関において、1か月以上にわたり4回以上、経営・財務・人材育成・販路開拓の支援を受け、創業支援カルテで確認できる者を特定創業支援等事業の要件を満たした者として三浦市が証明書を発行している。 証明書を発行することで、会社設立時の登録免許税軽減等の様々な支援を受けることができるが、相談の際や市ホームページでの周知に努めた結果、この制度を利用して創業する者が5年度実績に近い実績となった。 						

施策評価シート

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <p>1：企業等誘致プロモーション事業 ・二町谷地区多目的活用事業用地における企業立地を推進する必要がある。</p> <p>2：城山地区利活用事業 ・令和5年度に売却した事業用地の利活用を推進する必要がある。</p> <p>3：創業・事業承継等中小企業支援事業 ・セミナーや補助を継続的に実施すること。</p>
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：企業等誘致プロモーション事業 ・事業者と二町谷地区多目的事業用地の宿泊施設等の整備に向けたスケジュールの協議を行うとともに、事業が円滑に進むよう必要な支援を行う。</p> <p>2：城山地区利活用事業 ・継続して、事業が円滑に進むよう必要な支援を行う。</p> <p>3：創業・事業承継等中小企業支援事業 ・引き続き、三浦商工会議所、地域金融機関及び神奈川産業振興センターと連携し、創業支援と事業承継に関する相談窓口の充実を図るとともに、横須賀市と共同で、市内の事業者、事業継承予定者、創業者が新規事業を実現させるためのセミナー「Yomiivo 2025」を開催する。 ・中小企業の経営健全化、事業の拡大、雇用の創出及び継続のため、神奈川県信用保証協会の保証を受けて小規模クイック融資、小口零細企業保証資金、事業承継関連融資、創業支援融資、事業振興融資を受けた事業者に対し、信用保証料の一部を助成する信用保証料補助を実施する。</p>
内部評価結果	
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	<p style="text-align: center;">主な意見</p> <p>・できる限りオープンに市民に情報を周知することを念頭にした取組をお願いします。</p>

施策評価シート

基本目標	<p>基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」</p> <p>就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。</p> <p>また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。</p>	数値目標	<p>個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人</p> <p>【R03実績】16,113人</p> <p>【R04実績】15,956人</p> <p>【R05実績】15,944人</p> <p>【R06実績】15,814人</p>
------	--	------	---

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07																												
3-1	<p>漁港整備や経営支援、水産業従事者への各種支援を通じて、基幹産業である水産業の活力を維持し、市内における水産物の取扱量を維持・拡大します。</p>	2025	R07																												
具体的な施策	<p>市内漁港の取扱金額を維持し、漁業及びその関連産業を活性化するため、安全・安心な安定供給とともに、三崎ブランドの価値向上や地域の活性化を目指し、国・県・関係団体と連携し、三崎漁港の高度衛生管理化を進めます。また、三崎漁港における高度衛生管理化を生かし、漁船誘致活動に取り組むとともに安全で高品質な三崎漁港の水産物の輸出促進を図ります。</p>	<p>評価担当部課</p> <p>経済部 海業水産課 市場管理事務所</p>																													
事業名	<p>市場高度衛生管理化対策事業 三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業 三崎漁港整備事業 市営漁港整備事業 水揚入(出)港船対策事業 三浦市漁船建造等資金利子補給金交付事業 藻場保全事業（※R06から開始）</p>	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f2f2f2;">年度</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">R03</td> <td style="text-align: center;">90,196</td> <td style="text-align: center;">52,070</td> <td style="text-align: center;">57.7%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R04</td> <td style="text-align: center;">206,915</td> <td style="text-align: center;">68,775</td> <td style="text-align: center;">33.2%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R05</td> <td style="text-align: center;">387,695</td> <td style="text-align: center;">187,520</td> <td style="text-align: center;">48.4%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R06</td> <td style="text-align: center;">114,354</td> <td style="text-align: center;">47,703</td> <td style="text-align: center;">41.7%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R07</td> <td style="text-align: center;">269,304</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">1,068,464</td> <td style="text-align: center;">356,068</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	R03	90,196	52,070	57.7%	R04	206,915	68,775	33.2%	R05	387,695	187,520	48.4%	R06	114,354	47,703	41.7%	R07	269,304			計	1,068,464	356,068	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
R03	90,196	52,070	57.7%																												
R04	206,915	68,775	33.2%																												
R05	387,695	187,520	48.4%																												
R06	114,354	47,703	41.7%																												
R07	269,304																														
計	1,068,464	356,068	/																												

施策評価シート

内部評価（1次評価）						
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫 （ 実 績 ）	<p>1：市場高度衛生管理化対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度衛生管理化対策のための整備が完了した低温卸売市場及び沿岸卸売市場については、高品質な冷凍マグロ及び沿岸水産物の安定供給のため、関係機関と連携して高度衛生管理に適合した施設の管理運営に継続して取り組んだ。 ・令和6年度は共同加工場の設計に着手する予定であったが、関係する事業者の移転交渉を先行するととなり、着手しなかった。 <p>2：三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かながわブランド」に登録された「三崎黒潮キンメ」の特徴を伝えるPR短編動画資料を作成して宣伝することで、キンメダイの輸出促進と「三崎」ブランドの浸透を図った。 ・地域の衛生管理の意識を向上させるとともに、輸出促進や国内取引の推進に向けた基礎的な体制の構築を資することを目的とし講習会を開催した。 <p>4：市営漁港整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毘沙門漁港について、安全で円滑な漁業が行える環境を整備するための浚渫工事の実施に先立ち、浚渫工事の調査実施設計業務委託を行った。 <p>5：水揚入(出)港船対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠洋まぐろはえ縄漁船に対する水揚奨励金の交付を引き続き実施したほか、市内水産業界と連携して遠洋まぐろ漁船の基地港である富山県入善町及び岩手県宮古市へ表敬訪問を行い、船主に対し三崎市場での水揚についてのPRを行った。 ・令和6年度の三崎漁港での遠洋まぐろはえ縄漁船の水揚隻数は、令和5年度より1隻減の13隻となった。 <p>7：藻場保全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食害生物の除去や母藻の設置などを行う3組織を補助し、磯焼けの改善を図った。 ・日本テレビ放送網株式会社から三浦半島4市1町へ企業版ふるさと納税を活用した寄附を受け、二酸化炭素の吸収源である藻場の再生活動を行った。 					
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
	No	事業名	主な取組・成果	No	事業名	主な取組・成果
	1	市場高度衛生管理化対策事業	施設建築に係る移転補償費算定：1件	2	三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業	三崎黒潮キンメのPR動画の作成：1件 衛生管理に関する講習会：1件
	3	三崎漁港整備事業	水産物供給基盤機能保全事業：1箇所 防災対策支援事業：1箇所	4	市営漁港整備事業	毘沙門漁港2号船揚場調査設計業務委託：1件
5	水揚入(出)港船対策事業	三崎漁港で水揚する遠洋まぐろはえ縄漁船の隻数：13隻 県外漁船の誘致活動：2回	6	三浦市漁船建造等資金利子補給金交付事業	漁船建造等資金利子補給：4件	
7	藻場保全事業	藻場保全活動組織への支援：3件 藻場再生活動の取組：2件				

施策評価シート

KPIの進捗状況																																								
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ																																	
	市内漁港水揚額(千円)	備考																																						
H29	13,475,515	実績値					<p>(千円)</p> <table border="1"> <caption>KPI推移グラフデータ</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>値 (千円)</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>13,475,515</td><td>実績値</td></tr> <tr><td>H30</td><td>12,833,430</td><td>実績値</td></tr> <tr><td>R01</td><td>12,164,341</td><td>実績値</td></tr> <tr><td>R02</td><td>9,426,649</td><td>実績値</td></tr> <tr><td>R03</td><td>9,117,889</td><td>実績値</td></tr> <tr><td>R04</td><td>11,986,532</td><td>実績値</td></tr> <tr><td>R05</td><td>9,361,524</td><td>実績値</td></tr> <tr><td>R06</td><td>9,351,504</td><td>実績値</td></tr> <tr><td>R06</td><td>13,426,000</td><td>目標値</td></tr> <tr><td>R07</td><td>13,426,000</td><td>目標値</td></tr> </tbody> </table>	年	値 (千円)	種類	H29	13,475,515	実績値	H30	12,833,430	実績値	R01	12,164,341	実績値	R02	9,426,649	実績値	R03	9,117,889	実績値	R04	11,986,532	実績値	R05	9,361,524	実績値	R06	9,351,504	実績値	R06	13,426,000	目標値	R07	13,426,000	目標値
年	値 (千円)	種類																																						
H29	13,475,515	実績値																																						
H30	12,833,430	実績値																																						
R01	12,164,341	実績値																																						
R02	9,426,649	実績値																																						
R03	9,117,889	実績値																																						
R04	11,986,532	実績値																																						
R05	9,361,524	実績値																																						
R06	9,351,504	実績値																																						
R06	13,426,000	目標値																																						
R07	13,426,000	目標値																																						
H30	12,833,430	実績値																																						
R01	12,164,341	実績値																																						
R02	9,426,649	実績値																																						
R03	9,117,889	実績値																																						
R04	11,986,532	実績値																																						
R05	9,361,524	実績値																																						
R06	9,351,504	実績値																																						
R06	13,426,000	目標値																																						
R07	13,426,000	目標値																																						
達成状況	×																																							
KPIの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIで設定している三崎水産物地方卸売市場の水揚金額と市営漁港の水揚金額とを合計した市内漁港取扱金額は、令和6年は93億5,150万円で、目標値134億2,600万円を40億7,450万円、30.3%下回った。 ・KPI(平成28年から平成30年の平均値)と比較すると、沿岸・沖合漁業では3,245万円、3.5%上回ったものの、水揚と陸送品を合わせた遠洋漁業の冷凍品では9億5,685万円、31.7%、上場品の冷凍品では30億8,876万円、34.3%下回る結果となり、冷凍品の取扱額がKPI目標値を下回った主な要因である。 ・冷凍品は、取引量が前年比で6.8%の増となっている。円安の影響もあり東南アジアなどで原材料としての輸出货量が増えたことが影響していると考えられるが、取引単価自体は微減しているため、取扱金額については0.9%の増にとどまった。 ・沿岸・沖合漁業では、取引量は前年比で10.2%の増となったものの、イカ類、マアジ、ブリといった比較的取扱量の多い魚種で取引単価が減少しており、取引金額は前年比で5.8%の減となっている。 ・目標達成のためには、主力商品である冷凍マグロの取扱量の増加を目指すとともに、市内水産物の三崎魚市場への集約や、地元水産物のブランド化及びPRを行うことにより、市内水産物の取扱量の増加と需要の拡大を図る必要がある。 																																							

(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)

施策評価シート

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <p>1：市場高度衛生管理化対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度衛生管理化対策を進めるため、共同加工場及び超低温冷蔵庫建設工事が遅れている。 ・高度衛生管理化対策のための整備が完了した低温卸売市場及び沿岸卸売市場については、より適切な管理運営に努め、今後もその価値を維持していくことが課題である。 <p>2：三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三崎漁港の水産物の輸出拡大を目指すため、海外マーケットにおける三崎ブランドの認知度が低いため輸出の大幅な増となっていない。 ・海外の衛生管理基準に対応するため、漁業関係者の衛生管理意識の向上が課題である。 <p>5：水揚入(出)港船対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水揚げ量が減少しているため水揚額も増加していない点が課題となっている。 <p>6：三浦市漁船建造等資金利子補給金交付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者の新船建造や中古船購入による漁獲量向上に寄与するための、漁業者に対する制度の利用向上が課題である。 <p>7：藻場保全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年大きな問題となっている磯焼けにより、沿岸の漁獲対象物が減少している。
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：市場高度衛生管理化対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同加工場及び超低温冷蔵庫建設のため、関係者との調整をスピード感を持って進めていく。 ・高度衛生管理化対策のための整備が完了した低温卸売市場及び沿岸卸売市場については、高品質な冷凍マグロ及び沿岸水産物の安定供給のため、引き続き関係機関と連携して高度衛生管理に適合し、施設の価値を発揮できるよう適切な管理運営に取り組む。 <p>2：三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターナショナルシーフードショーに出展し、これまで作成してきたPR資材を活用しながら「三崎」の水産物を宣伝、国際的な三崎ブランドの認知度向上に努め輸出増に寄与する。 ・引き続き、漁業関係者を対象とした衛生管理講習を行い輸出増加の基盤を強化する。 <p>5：水揚入(出)港船対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水揚げ金額向上のため、三崎漁港で水揚げした遠洋まぐろはえ縄漁船への奨励金を引き続き交付するほか、卸売団体と共同で基地港への表敬訪問を実施し、三崎漁港における冷凍マグロの水揚量の増加を図る。 <p>6：三浦市漁船建造等資金利子補給金交付事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁船建造等に係る設備投資をしやすい環境の整備について関係機関と連携しながら取り組む。 <p>7：藻場保全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、食害生物の除去や母藻の設置などを行う活動組織を補助し、磯焼けの改善を図る。
内部評価結果	
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）			
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見	・引き続き水揚隻数が増加するような取組をお願いします。

施策評価シート

基本目標	<p>基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」 就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。 また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。</p>	数値目標	<p>個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人 【R03実績】16,113人 【R04実績】15,956人 【R05実績】15,944人 【R06実績】15,814人</p>
------	--	------	---

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07																												
3-2	良好な農地の整備・維持管理、流通システム環境整備、ブランド開発支援等により農業生産性を維持・向上させます。	2025	R07																												
具体的な施策	農業産出額を維持するため、畑地かんがい施設、農道、排水路の総合的な整備や有害鳥獣被害対策への取組などにより営農環境の改善を図るとともに、三浦市農業後継者対策実行委員会が実施する農業者と都市在住者との農業体験型交流イベントの開催を支援し農業後継者不足の改善を図ります。	評価担当部課	経済部 農産課																												
事業名	三浦野菜品種改良等支援事業 有害鳥獣被害対策事業 農業基盤整備事業 農業後継者対策事業 農業の多面的機能促進事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e6e6fa;">年度</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>47,493</td> <td>44,051</td> <td>92.8%</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>45,170</td> <td>41,444</td> <td>91.8%</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>49,977</td> <td>49,819</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>56,291</td> <td>54,627</td> <td>97.0%</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>62,343</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>261,274</td> <td>189,941</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	R03	47,493	44,051	92.8%	R04	45,170	41,444	91.8%	R05	49,977	49,819	99.7%	R06	56,291	54,627	97.0%	R07	62,343			計	261,274	189,941	
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
R03	47,493	44,051	92.8%																												
R04	45,170	41,444	91.8%																												
R05	49,977	49,819	99.7%																												
R06	56,291	54,627	97.0%																												
R07	62,343																														
計	261,274	189,941																													

施策評価シート

内部評価（1次評価）						
R 6 年 度 の 主 績 な 取 組 と 工 夫	<p>1：三浦野菜品種改良等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産を取り巻く環境が厳しくなる状況下で、消費者の志向を反映した作物づくり、栽培技術の向上、気象状況の変化、コスト削減、環境に優しい農業等が求められる中、三浦市の独自品種の改良と野菜品質向上のための技術に関して、三浦市農業協同組合が総合的に研究していることを支援し、本市農業の振興に努めた。 ・青首大根の有望品種の選定、三浦野菜品種改良、新品目野菜導入試験、交配用みつ蜂の配置が行われた。 <p>また、三浦野菜認知度向上・消費拡大プロジェクトを実施し、レシピ開発等に取り組んだ。 品種改良等試験件数：3件（早春キャベツ、かぼちゃ果実の肥大化、小玉すいか）</p> <p>2：有害鳥獣被害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各地で発生しているアライグマ及びハクビシン等による農産物への被害、生活圏への侵入による生活被害及び地域生態系への環境被害に対応するため、三浦市農業協同組合と連携し捕獲檻の貸出を実施した。捕獲実績として、アライグマ85件、タイワンリス367件、ハクビシン34件、合計処理件数486件となった。 ※令和5年度479件→令和6年度486件 前年度比7件増 <p>3：農業基盤整備事業</p> <p>(1)農とみどりの整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県費補助対象事業として、高円坊字一ノ坪の農道舗装整備を行い、営農環境の向上を図った。（L=80m） (2)初声町下宮田地区畑地帯総合整備事業 ・県営事業として初声町宇水余地区で実施されている排水路整備の実施にあたり、事業費の一部を負担し、農業生産性の向上を図った。（排水路整備：L=52.1m） (3)諸磯小網代地区畑地帯総合整備事業 ・県営事業として、三崎町諸磯及び小網代地区内約30haの土地改良事業区域において、畑かんがい用水設備、農道及び排水路等を総合的に整備するため、三浦市諸磯小網代土地改良区が実施している土地改良事業に対して補助を行い、事業の促進に努めた。（畑地かんがい用管路布設：L=464.3m、舗装工：L=359.2m） <p>4：農業後継者対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で開催出来なかった農業体験型交流イベント（男性農業者と女性参加者の交流の場を提供）を令和4年度から再開。令和6年度からは、名称を「アグリde恋来」に統一して開催し男性5人、女性4人に参加いただき交流を深めることができた。 <p>その他：トップセールス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦市農業協同組合とともに、令和7年3月に東京青果株式会社、東京荏原青果株式会社、東京シティ青果株式会社を訪問し、流通販路の拡大を目指してトップセールスを行った。 <p>その他：食品開発及び販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手企業及び三浦市農業協同組合と連携し、三浦市特産である春キャベツ及び大根を使用した商品（ハンバーグ）を販売し、三浦野菜の販路拡大に務めた。 また、今年度、新たに京急グループ、農協、おつけもの慶と連携し商品開発した「三浦の大根使用カクテキ」を京急ストア、もとまちユニオンにて販売を行った。 ※キャベツを利用したハンバーグ：令和5年度285,026食→令和6年度206,372食 前年度比78,654食減、大根を利用したハンバーグ：令和5年度65,940食→令和6年度101,140食 前年度比35,200食増 三浦の大根使用カクテキ 約900食 <p>その他：販路拡大等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦野菜の販路拡大に向けた取り組みとして、北海道へ早春キャベツ、大根、カリフラワ－の出荷を実施したほか、台湾へ大根、キャベツの輸出を行った。今後も三浦市農業協同組合や関係団体と連携し輸出を含め、販路の拡大に務める。 					
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
	No	事業名	主な取組・成果	No	事業名	主な取組・成果
	1	三浦野菜品種改良等支援事業	品種改良等試験：3件	2	有害鳥獣被害対策事業	対象有害鳥獣処理件数：486件（アライグマ：85件、タイワンリス：367件、ハクビシン：34件）
3	農業基盤整備事業	高円坊字一ノ坪地区農道舗装整備：L=80m 初声町下宮田宇水余地区畑地帯排水路整備：L=52.1m 諸磯小網代地区畑地帯総合整備畑地かんがい用管路布設：L=464.3m 農道舗装整備：L=359.2m	4	農業後継者対策事業	農業者交流イベントの開催：1回	
5	農業の多面的機能促進事業	農地維持活動の取組面積：40,035a	6			

施策評価シート

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	農業産出額 (千円)	備考					
H29	9,116,629	実績値					
H30	5,267,403	実績値					
R01	5,089,707	実績値					
R02	6,058,325	実績値					
R03	5,249,001	実績値					
R04	6,158,181	実績値					
R05	5,977,551	実績値					
R06	8,037,061	実績値					
R06	6,442,000	目標値					
R07	6,442,000	目標値					
達成状況	○						
KPIの分析	<p>・令和6年度は、気候変動の影響等から、生育及び品質不良が増え例年通りの栽培が難しい状況により、出荷量は減少したものの、全国的に野菜の品薄状態が続いたことから、相場が上がり高単価での販売となった。</p> <p>・主要品目の状況だが、今期のダイコンは、猛暑や干ばつ、集中豪雨等の影響からサイズが小ぶりとなり出荷量は減少したが、全国的にも品質、生育が良くなかったことで、逆に取扱高は増加した。</p> <p>・キャベツも同様に他産地も含め、干ばつや高温の影響を受け小玉傾向になるなど生育の遅れから、出荷量が減少し品薄状態が続き、取扱い数量が減少したことにより高値で推移した。</p> <p>・夏野菜、特にスイカは出荷当初の厳しい販売状況だったが、その後、天候に恵まれ販売状況は安定したものの、販売実績は前年度比93.8%に留まった。</p> <p>・また平成30年度から始めたインターネットによる通信販売については、販売品目を増やしたことにより前年度比108.9%と売り上げを伸ばした。</p> <p>・三浦野菜全体としては、冬春野菜は約20億4,743万円の増、夏野菜は約886万円の減、年間では約20億3,857万円の増となった。</p> <p>・キャベツ販売実績（約1,107,953千円増）、ダイコン販売実績（約918,684千円増）、スイカ販売実績（約39,296千円減）、カボチャ販売実績（約29,269千円増）、カリフラワー販売実績（約15,814千円増）、通信販売（約919千円増）などにより、前年度から農業産出額が増加した。（約2,059,511千円増）</p>						<p>(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)</p>

施策評価シート

KPI達成に向けた改善策・手法と	<p>KPI達成に向けた課題</p> <p>1：三浦野菜品種改良等支援事業 ・露地野菜一大産地としての生産性、市場における優位性の維持並びに多様化する消費者の嗜好に対応するため、次代を担う農作物の開拓、栽培技術の向上、環境保全型農業の推進及び気候変動対応等に向けた取組</p> <p>2：有害鳥獣被害対策事業 ・近年、有害鳥獣の捕獲数が増加傾向にあり、農作物被害だけに限らず生活環境被害も増えている。また、市域を越えて被害が拡大していることから、市単独での対応が難しい。</p> <p>その他：食品開発及び販売 ・農協と連携し食品会社と三浦野菜を使用した商品開発を行い商品化し現在も販売は行っているが、新たな需要を開拓し三浦野菜の消費拡大させるためには、農産加工食品等（中食、外食、お土産向け）の開発に取組む必要がある。</p> <p>その他：販路拡大への取組 ・長年、取組んでいる課題であり、課題解消に向け市場関係者への広報活動など毎年行い新たな販路の開拓に取組んでいるが、現状では厳しい状況にある。</p>
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：三浦野菜品種改良等支援事業 ・三浦野菜の品質の優位性を維持することは、市場での高値での販売、産地間競争に負けないことであり、そのためには、生産性、栽培技術を向上させることや将来を見据えた新品種の開発等を絶え間なく試験・研究を行っていくことが不可欠であることから継続して支援を続ける。</p> <p>2：有害鳥獣被害対策事業 ・有害鳥獣対策として、捕獲数が多い方々へ積極的に協力要請を行い、計画的防除の拡大に努めるほか、農協、猟友会並びに県や近隣市町村との連携を強化し有害鳥獣の適切な駆除に取り組む。</p> <p>その他：食品開発及び販売 ・農協と連携し食品企業や関係団体に対して三浦野菜を活用した農産加工食品の開発提案を行っていくほか、農産加工食品の製造・販売を考えている又は興味のある農家などに対しは、加工業に必要な設備や関係法令、国、県の補助事業の活用など関係機関と連携し必要な支援を行っていく。</p> <p>その他：販路拡大への取組 ・販路拡大策については、農協と連携し毎年トップセールスを実施しているが、今まで以上に農協が連携し販路拡大に努めるほか、地方の市場関係者への売込みの強化を行う。また地場産消費拡大協議会農産分科会においても販路拡大の実現に向けた取組の検討を行っていく。</p>
内部評価結果	
施策の評価	<p>5 目標達成しています。</p>

外部評価（2次評価）		
施策の評価	<p>5 目標達成しています。</p>	主な意見
		<p>・単価の向上と販路拡大が期待できる加工食品の事業に力を入れた取組をお願いする。</p>

施策評価シート

基本目標	<p>基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」</p> <p>就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。</p> <p>また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。</p>	数値目標	<p>個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人</p> <p>【R03実績】16,113人</p> <p>【R04実績】15,956人</p> <p>【R05実績】15,944人</p> <p>【R06実績】15,814人</p>
------	--	------	---

施策No.	基本的方向				評価実施年度	R07
3-3	魅力的な商店街づくりや中小企業の創意工夫など商工業者自身による経営努力を支援するとともに、経営安定化や雇用維持のための公的支援策を通じて地元雇用の場としての商業・工業の活力を維持・向上させます。				2025	R07
具体的な施策	商工サービス業の振興を図るため、地域経済の活性化を担う商工会議所への助成、建築業の人材育成を行っている建築職業訓練校への助成、リフォーム助成及び市内まちおこし団体への支援等を行います。				評価担当部課	総務部 財産管理課 経済部 観光商工課
事業名	住宅リフォーム助成事業 三浦市経済対策利子補給金交付事業 地域活性化事業 商工団体育成事業 中小企業退職金共済掛金補助事業	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			R03	11,093	10,376	93.5%
			R04	11,517	11,077	96.2%
			R05	20,695	12,318	59.5%
			R06	17,343	15,911	91.7%
			R07	16,965		
			計	77,613	49,682	

施策評価シート

内部評価（1次評価）						
R6年度 （実主 績な 取組 と工 夫）	<p>1：住宅リフォーム助成事業 ・市内施工業者により行う対象工事費20万円以上の住宅・マンションのリフォーム工事に対し一律8万円の助成を119件行い、多数の業種にわたる中小工事業業者の事業創出を促進し、市内全体の経済活性化及び住環境の向上に努めた。</p> <p>2：三浦市経済対策利子補給金交付事業 ・10月から12月までの間に対象金融機関から融資を受けた市内中小事業者に対し、借入金の利子の一部を補助することにより、資金繰りとして融資を受けた中小企業者の経営の安定を図った。</p> <p>3：地域活性化事業 ・三崎下町商店会が中心となって開催している「MISAKIぐるぐる春まつり2024」の費用の一部を負担して、下町商店街の活性化を図った。</p> <p>4：商工団体育成事業 ・市内商工団体の経営安定と活性化を図るため、三浦商工会議所等に対して事業費の一部を補助し、商工団体の健全な育成を図った。</p> <p>5：中小企業退職金共済掛金補助事業 ・中小企業者が負担する退職金共済掛金の一部を補助し、中小企業の振興と従業員の福祉の向上及び雇用の安定を図った。</p> <p>※施策No.2の創業・事業承継等中小企業支援事業として、三浦商工会議所、地域金融機関及び神奈川産業振興センターと連携し、市内で創業又は事業承継を行おうとしている事業者に対して支援し、中小企業者数の維持・増加を図った。</p>					
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
	No	事業名	主な取組・成果	No	事業名	主な取組・成果
	1	住宅リフォーム助成事業	補助金交付：119件	2	三浦市経済対策利子補給金交付事業	利子補給：66件
3	地域活性化事業	負担金交付：1件	4	商工団体育成事業	補助金交付：2件	
5	中小企業退職金共済掛金補助事業	補助金交付：46件	6			

施策評価シート

KPIの進捗状況						
年	KPI①		KPI②		KPI③	
	法人市民税額（商業・工業）（千円）	備考				
H29	85,595	実績値				
H30	81,497	実績値				
R01	86,223	実績値				
R02	89,296	実績値				
R03	82,123	実績値				
R04	79,312	実績値				
R05	74,878	実績値				
R06	81,305	実績値				
R06	83,424	目標値				
R07	83,424	目標値				
達成状況	×					
KPIの分析	<p>KPI①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPIは、建設業、製造業、卸・小売業を合計した法人市民税で、目標値はコロナ禍前の3か年の平均値となっている。 ・令和6年度は、81,305千円となり、前年度比で6,427千円の増と過去2年の実績を上回る数値だったが、目標値と比較すると2,119千円低かった。 ・業種ごとの内訳は、下記のとおりでいずれの業種も前年度と比較し増加した。 <ul style="list-style-type: none"> 【建設業】18,461千円(1,943千円増(前年度比111.8%)) 【製造業】6,525千円(1,222千円増(前年度比123.0%)) 【卸・小売業】56,320千円(3,263千円増(前年度比106.1%)) ・3業種の有効法人数（令和6年度）は513事業所となっており、建設業、製造業は昨年度と同数だが、卸・小売業は6者増であり、法人数は概ね維持されている。 ・商工会議所の景気調査によると、令和5年度中は概ね景況感が良化傾向にあることが見て取れた。一方、令和6年度は概ね景況感が悪化傾向にあることが見て取れたため、令和6年度の業績が反映される令和7年度の法人市民税が引き続き増加するかは予断を許さない状況と考えられる。 ・特に同調査の「当面の経営上の問題点」として令和5年から「仕入・材料価格の上昇」や「管理経費の増加」が最も高い傾向が続いており、企業の利益を圧縮しているものと考えられる。 					
	<p>KPI推移グラフ</p> <p>(千円)</p> <p>H29 H30 R01 R02 R03 R04 R05 R06 R06 R07</p>					

(※R06からR07の数値（点線）は、目標値となります。)

施策評価シート

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	KPI達成に向けた課題
	<p>・KPIの達成には、中小企業者に対する従業員の福祉の向上や雇用の安定化に資する切れ目のないサポートが必要であり、今後も中小企業者に対する管理経費軽減につながる支援を継続して実施することが課題である。</p>
今後行う改善策・手法	今後行う改善策・手法
	<p>・中小企業の経営安定のために行う、年末等の資金繰りとして融資を受けたときの借入金の利子の一部補助や中小企業の振興と従業員の福祉向上と雇用の安定化を図るべく退職金共済契約の掛金の一部補助といった支援は、管理経費軽減の一助となるので、継続していく。</p> <p>・商工会議所の中小企業相談所と連携し、創業や事業承継等の取組を通して商工業者の維持拡大を目指していく。</p> <p>(施策No.2の創業・事業承継等中小企業支援事業として)</p> <p>・三浦商工会議所、地域金融機関及び神奈川産業振興センターと連携し、創業と事業承継に関する相談窓口の充実を図るとともに、セミナーなどの開催や情報提供を積極的に行う。</p> <p>・神奈川県信用保証協会の保証を受けて神奈川県中小企業制度融資を受けた事業者に対し、信用保証料の一部を助成する信用保証料補助については、中小企業の経営健全化、事業の拡大、雇用の創出及び継続のため、引き続き実施していく。</p>
内部評価結果	
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見
		・主な意見なし

施策評価シート

基本目標	基本目標 2: 「三浦市への新しいひとの流れをつくる」 三浦市らしいライフスタイルの発信や、若年世帯から中高齢世帯までがそれぞれの志向にあった住宅を選択できるような特色のある多様な住宅地の整備に取り組み、転出抑制、転入促進を図ります。	数値目標	社会減	【目標値】 (R03~R07) 89人 ----- 【R03実績】 △12人 【R04実績】 △53人 【R05実績】 37人 【R06実績】 9人

施策No.	基本的方向		評価実施年度	R07		
4	三浦市に居住したいと考える人のニーズにあった宅地供給や住宅地整備の実現に向けた支援を行うとともに、転入・定住支援策によって、市内への転入者を増やします。		2025	R07		
具体的な施策	子育て世帯のニーズにあった住宅を供給し、子育て世帯の転入促進・転出抑制を図るため、南下浦市民センター用地に市民センター、図書館及び出張所を併設した子育て賃貸住宅を整備します。 また、まちの魅力を高め関係人口を増加させるために、令和2年度に策定した三崎下町地区や城山地区を含めた三崎漁港のランドデザインの成果に基づく事業を実施するとともに、移住相談窓口の運営、移住セミナーの開催及び移住希望者向けのイベント開催等により、三浦市への移住をPRし、移住者数の増加を図ります。		市長室 政策部 政策課 総務部 財産管理課 都市環境部 土木課			
事業名	子育て賃貸住宅等整備事業 移住定住促進事業 歩行空間整備事業	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			R03	21,457	15,757	73.4%
			R04	7,565	7,391	97.7%
			R05	24,894	23,557	94.6%
			R06	857,282	856,010	99.9%
			R07	37,348		
			計	948,546	902,715	/

施策評価シート

内部評価（1次評価）						
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 成 果	<p>1：子育て賃貸住宅等整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月15日に着工した建設工事について、令和6年5月31日に工事完成確認を行い、同日に事業者から完成した施設の引渡しを受けた。 ・金利変動に伴い、設計・建設業務に係る対価のうち、割賦料分の増額に係る3回目の変更（仮）契約を令和6年8月26日に締結し、当該契約について、令和6年9月27日の議決をもって本契約として締結した。 ・物価変動に伴い、維持管理業務及び運営業務に係る対価の減額に係る4回目の変更（仮）契約を令和7年3月3日に締結し、当該契約について、令和7年3月24日の議決をもって本契約として締結した。 ・賃貸住宅について、令和6年3月から入居者の募集を開始し、同年9月に全26戸が満室となった。その後、入居者の都合により2戸の住戸に退去があったため、令和7年3月31日時点での入居戸数は24戸となっている。 <p>2：移住定住促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新海業プロジェクト」については、審査講評及び三崎漁港（本港地区及び新港地区）海業振興を目指す用地活用プロジェクト実施事業者選定審議会を開催し、興和グループを優先交渉権者に決定した。その後、優先交渉権者、関係機関との協議を進め、令和7年3月に優先交渉権者と三崎漁港（本港地区及び新港地区）海業振興を目指す用地活用プロジェクト基本協定を締結した。 ・「三崎漁港ランドデザイン推進会議」を2回開催し、「新海業プロジェクト」の情報を共有するとともに、「三崎漁港ランドデザイン」アクションプランのブラッシュアップを行った。 ・セレノネインの普及促進については、三浦商工会議所に業務委託し、まぐろ未病改善効果研究会と連携し、「茜身」を使用したメニュー開発や「三浦海岸桜まつり」「三浦国際市民マラソン」等のイベント会場でのプロモーションを実施した。 ・神奈川県主催の移住セミナー（オンライン）に2回（うち1回は市単独）参加した。 ・「三浦移住学」講座を2回開催し、第6期（令和6年11月30日）14名、第7期（令和7年2月22日）13名、合計27名の参加があった。 ・移住相談窓口、移住セミナー及び移住講座における移住相談に対応した。（移住相談131件） ・移住定住冊子「MIURA」をふるさと回帰支援センター（東京都千代田区）や市内各施設等に配架する等、本市への移住及び定住をPRした。 <p>3：歩行空間整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道120号の一部の道路整備を完了させる予定であったが、隣接で行われているマンション建設工事の進捗に併せて舗装工事を行わないとお互いの工程に不具合が生じる必要性が出てきたため、舗装工事を令和7年度に後ろ倒しすることとなった。 					
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
	No	事業名	主な取組・成果	No	事業名	主な取組・成果
1	子育て賃貸住宅等整備事業	新築工事の完了：1件 子育て賃貸住宅の供用開始：1件	2	移住定住促進事業	新海業プロジェクト実施事業者の選定：1件 新海業プロジェクト推進に向けた関係機関との調整：1件 海業推進事業実施に向けた海のルール作成完了：0件 セレノネイン普及促進事業の実施：1件 移住相談窓口での相談件数：131件	
3	歩行空間整備事業	市道120号等における歩行空間整備の推進：整備率73%	4			

施策評価シート

K P I の進捗状況																																					
年	K P I ①		K P I ②		K P I ③		K P I 推移グラフ																														
	子育て賃貸住宅の整備の進捗・入居者数	備考	定住促進事業により移住した世帯数（世帯）	備考																																	
H29	-	実績値	2	実績値			<div style="text-align: center;">K P I ②</div> <p>(世帯)</p> <table border="1"> <caption>KPI ② 推移データ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>6</td><td></td></tr> <tr><td>R01</td><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>R02</td><td>5</td><td></td></tr> <tr><td>R03</td><td>7</td><td></td></tr> <tr><td>R04</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>R05</td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>R06</td><td>9</td><td>9</td></tr> <tr><td>R07</td><td>10</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H29	2		H30	6		R01	2		R02	5		R03	7		R04	9		R05	10		R06	9	9	R07	10	10
年度	実績値	目標値																																			
H29	2																																				
H30	6																																				
R01	2																																				
R02	5																																				
R03	7																																				
R04	9																																				
R05	10																																				
R06	9	9																																			
R07	10	10																																			
H30	-	実績値	6	実績値																																	
R01	-	実績値	2	実績値																																	
R02	-	実績値	5	実績値																																	
R03	事業者公募実施	実績値	7	実績値																																	
R04	特定事業契約及び工事着工	実績値	9	実績値																																	
R05	工事実施入居者募集の開始	実績値	10	実績値																																	
R06	工事完了入居者84人	実績値	9	実績値																																	
R06	工事完了	目標値	10	目標値																																	
R07	入居者81人	目標値	10	目標値																																	
達成状況	○		×																																		
K P I の分析	K P I ① 令和6年度の目標値としていた建設工事の完了については、予定通り達成した。また、入居者についても、予定数を達成することができた。		K P I ② 合計131件の移住相談を実施し、市の移住相談の中から移住者が出る等、9世帯が三浦市に移住したが、目標は達成できなかった。																																		

(※R06からR07の数値（点線）は、目標値となります。)

施策評価シート

K P I 達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>K P I 達成に向けた課題</p> <p>1：子育て賃貸住宅等整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現入居者の入居満足度を更に向上させること。 ・現入居者の退去に伴う空き住戸について、早期に入居させること。 <p>2：移住定住促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三崎漁港グランドデザイン」及び「アクションプラン」を推進することにより、関係人口の増加を図る必要がある。 ・移住定住希望者への効果的なPR展開を図る必要がある。 ・移住相談への対応方法を充実させる必要がある。 <p>3：歩行空間整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接地施工業者との施工調整。
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：子育て賃貸住宅等整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の意見をアンケートの実施等により把握した上、入居満足度の向上及び入居継続を促す具体的な方策を作成、実行していく。 ・退去に伴う空き住戸の早期入居に向けて、入居募集に際し市ホームページや公式LINE等のほか、民間の住宅総合情報サイト等の活用を通じて、引き続き、効果的かつ効果的な周知を行う。 <p>2：移住定住促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の増加を図るため、「三崎漁港グランドデザイン推進会議」において、関係団体との情報共有や意見交換を行い「三崎漁港グランドデザイン」及び「アクションプラン」の進行管理を行うとともに、「新海業プロジェクト」については、基本協定締結事業者と連携し、事業契約に向けた関係者調整等を進める。 ・神奈川県主催の移住セミナーに引き続き参加し、三浦市に移住した先輩移住者等をゲストに招き、移住定住のPRを民間事業者や移住者と連携して実施する。 ・セミナー等の参加者へのアンケート調査結果などにより移住希望者のニーズを把握し、次回のセミナー等のほか、その他の移住定住施策に生かす。 ・令和7年度も引き続き移住講座を年2回開催する。 ・県が主体となり三浦半島魅力最大化プロジェクトの一環で実施する三浦半島移住コンシェルジュと連携を図り、移住相談や現地案内等を充実させていく。 ・物件に関する相談に対し、不動産事業者や民間で移住支援を行っている事業者等、空き家対策との連携も含め、関係者と情報を共有し、効果的な取組について検討を行っていく。 ・結婚支援事業で実施している若い新婚世帯への補助金事業について、移住定住の促進も図れるよう、連携して取り組んでいく。 <p>3：歩行空間整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接地施工業者と具体的な施工調整を行ったうえで整備工事を実施し、令和7年度中に歩行空間の整備を完了させる。

内部評価結果

施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。
-------	--------------------------

外部評価（2次評価）

施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て賃貸入居後のフォローアップをしっかりと行っていただきたい。 ・海業のグランドデザインは広く市民に説明する機会の検討をしていただきたい。
-------	--------------------------	------	--

施策評価シート

基本目標	基本目標3：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。	数値目標	合計特殊出生率	【R07目標値】 1.4
			【R03実績】 1.0 【R04実績】 1.2	

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07
5	<p>子育てを支えるための適切な経済的援助を行い、経済的に深刻な悩みを抱える子育て中の家庭を減らします。</p> <p>子育てに関する情報の一体的な発信や総合窓口の設置等により、安心して子育てができる環境を整備し、子育て世帯の定住を維持します。</p> <p>健康診査や保健指導など母子の命と健康を守る対策を通じて、母親と乳幼児の健康を確保します。</p>	2025	R07
具体的な施策	<p>子育て世帯を支援し、定住を図るため、小児が医療機関を受診した際の自己負担額（保険適用分）を全額助成することにより子育て世帯の経済的負担を軽減します。</p> <p>令和3年度からは、ふるさと納税の寄附金を活用し、新たに妊婦健診の受診等のためのタクシー料金及び新生児聴覚スクリーニング検査に対する補助を行い、子育て世帯の安心な子育てを支援します。</p> <p>妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供する子育て世代包括支援センターにおいて、妊産婦等に対し切れ目のない支援を行います。</p>	評価担当部課	保健福祉部 子ども課
事業名	<p>小児医療費助成事業（市単独分）</p> <p>子育て世代包括支援事業</p> <p>次世代育成支援事業</p> <p>妊婦健康診査事業</p> <p>児童虐待防止事業</p>		
		事業費	
		年度	事業費予算額 (千円)
		R03	事業費決算額 (千円)
		R04	予算執行率
		R05	86,402
		R06	72,303
		R07	83,874
		計	105,263
			72.0%
			129,219
			360,233
			/

施策評価シート

内部評価（1次評価）					
R6年度 （の 主 績 な 取 組 と 工 夫）	<p>・安心して子育てができる環境を整備することを目指し、主に以下の事業に取り組んだ。</p> <p>1：小児医療費助成事業（市単独分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校3年生までとしていた通院医療費の助成対象を令和5年10月から高校3年生相当の年齢まで拡大し、継続して事業を実施した。 ・国へ要望していた医療助成による国保会計への減額措置については、令和6年4月より廃止された。引き続き、国に対しては全国一律の小児医療助成制度の構築を要望するとともに、助成制度を実施している神奈川県に対しては補助率の見直し等の制度拡充について、継続して要望した。 <p>※市単独分の対象（R5年10月～）：所得制限を超えた者の医療費の自己負担額、小学校1年生から中学校3年生までの通院の医療費の自己負担額及び4歳以上の県補助分の対象者の医療費の自己負担額のうち通院1回200円、入院1日100円の一部負担金。）</p> <p>2：子育て世代包括支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉と母子保健の両面から支援を行う「親子相談センターひなたぼっこ」において、妊娠・出産や子育て全般への相談対応、母子保健サービスの紹介等により、切れ目のない支援を行った。 ・また、妊娠期から低年齢期（おおよそ2歳）の子育て世帯に寄り添いながら、必要な支援や情報提供を行う伴走型相談支援を実施するとともに、妊娠時と出産時に各5万円、計10万円を給付する経済的支援を併せて実施した。さらに、市の単独事業として、紙おむつ等の育児用品を上限1万円までWEB注文できる「子育て応援（紙おむつ等育児用品支給）事業」を実施した。 ・新規事業として、保険適用外の先進医療費の一部を助成する「不妊治療助成事業」、育児負担感等の事情により子どもの短期預かりを実施する「ショートステイ事業」、子育て世帯向けイベント「子育て世代交流支援事業」を実施した。 <p>5：児童虐待防止事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止のため、子育てに関する不安を抱える保護者への対応として、親子のコミュニケーションや子どもの問題行動への対処方法などの技術を学ぶ、親向けの子育て支援プログラム（令和6年度は、全8回のグループワークを対面形式とオンライン形式の併用により実施）や児童虐待防止セミナーの開催を委託により実施した。 ・さらに11月の児童虐待防止月間に合わせ、広報紙にて児童虐待防止に関する記事を掲載したほか、小中学校等に子ども向けの児童虐待防止チラシの配布を行った。 ・また、「親子相談センターひなたぼっこ」において、児童虐待に関する相談対応を行った。 				
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果				
No	事業名	主な取組・成果	No	事業名	主な取組・成果
1	小児医療費助成事業（市単独分）	対象者への医療証の交付：99.8%	2	子育て世代包括支援事業	不妊治療助成件数：0件 ショートステイ利用件数：0件 子育て世代交流イベントの開催：1回 妊娠届出書提出妊婦への面談：100% 特定妊婦、ハイリスク妊婦に対する妊娠8か月の面談・電話実施率：100% ヘルパー派遣事業利用件数：35件 プレババママ教室の開催：3回 タクシー料金補助：962枚（500円/枚） 新生児聴覚スクリーニング検査補助：112件 産婦健診受診率：95.3%（1回目）
3	次世代育成支援事業	計画の策定：1件 審議会の開催：3回 市民会議の開催：2回	4	妊婦健康診査事業	該当妊婦の健診受診率：98.3%（利用実数/補助券交付数）
5	児童虐待防止事業	啓発活動実施：1回 プログラムの実施：1回	6		

施策評価シート

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	乳幼児を持つ親のうち今後も三浦市で子育てをしたいと思う人の割合 (%)	備考					
H29	87.1	実績値					
H30	87.4	実績値					
R01	85.3	実績値					
R02	87.1	実績値					
R03	88.1	実績値					
R04	86.5	実績値					
R05	82.3	実績値					
R06	84.0	実績値					
R06	89.0	目標値					
R07	90.0	目標値					
達成状況	×						
KPIの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・指標は、3か月健診、10か月健診、1歳6か月健診、3歳児健診の際に、保護者に実施するアンケートの中の「今後も三浦市で子育てをしたいですか」という項目の回答のうち、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答数が全受診者数に占める割合を示すものである。 ・令和5年度は、全受診者577人のうち、「そう思う」が299人で51.8%、「どちらかといえばそう思う」が176人で30.5%であった。 ・令和6年度は、全受診者514人のうち、「そう思う」が253人で49.2%、「どちらかといえばそう思う」が179人で34.8%であった。 ・健診別では、令和5年度は3歳健診で85.2%と最も高く、令和6年度は、10か月健診で86.6%が最も高い割合となった。 						

(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)

施策評価シート

KPI達成に向けた課題 今後の改善策・手法と	<p>KPI達成に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15歳未満の子どもの数は、令和5年4月1日現在で3,240名、令和6年4月1日現在で3,094名、令和7年4月1日現在で、2,973名と年々減少している。また、年間の出生者数は、令和4年度が137名、令和5年度が120名、令和6年度が123名となっており、少子化に歯止めをかけることが課題となっている。 <p>1：小児医療費助成事業（市単独分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象の拡大により制度の充実を図ってきたが、地方単独制度であることから、財源の確保は自治体に委ねられている。 ・事業の財源となっている神奈川県が実施する助成事業についても、令和7年4月より要綱改正が行われ、補助率の見直しが行われたところであるが、助成対象については、県下の多くの自治体が高校3年生までを対象年齢としているところ、県補助の助成対象は小学校6年生までであるなど、助成制度と実際の制度に乖離が生じている状況である。 <p>2：子育て世代包括支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して妊娠・出産・子育てをするためには、妊娠を希望する方から妊産婦・子育て世帯までに寄り添う伴走型相談支援や、経済的な支援の充実が必要である。 ・また、子どもや保護者からの相談対応や支援を切れ目なく行う「親子相談センターひなたぼっこ」では、母子保健コーディネーター、母子父子自立支援員、臨床心理士等が、母子保健グループの保健師・栄養士と連携しながら、相談対応を行っているが、児童福祉の虐待対応や療育支援を担う、専任のケースワーカーが欠員となっている。 ・また、子育てに負担感等のある保護者の支援については徐々に事業を整備しているが、療育環境が整っていない子どもの安心・安全な場の確保は進んでおらず、家庭や学校以外に過ごすことが出来る「居場所」が必要である。 <p>5：児童虐待防止事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止を目的として、育児に不安を抱える保護者への対応として、親子のコミュニケーションや子育ての技術を学ぶ、親向けの子育て支援プログラムを委託により実施してきたが、本プログラムはグループワークがあるため、個別での対応が必要な保護者に対しての取組が必要である。 ・また、地域での児童虐待防止の啓発活動の継続や、児童虐待への対応を行う「親子相談センターひなたぼっこ」の体制強化が必要である。
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：小児医療費助成事業（市単独分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も通院医療費の助成対象を10月から高校3年生相当の年齢までとし、安心して医療を受けられる体制を継続して確保していく。 ・今後も引き続き、全国一律の小児医療助成制度の構築を国に働きかけていくとともに、神奈川県に対し、補助制度の拡充を要望していく。 <p>2：子育て世代包括支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠を希望する方のうち不妊治療を行う方を対象に、経済的・精神的な負担の軽減を図ることを目的として、保険適用外の先進医療の一部助成や相談対応を継続する。 ・また、妊産婦・子育て世帯に寄り添う伴走型支援と、経済的な支援である「子育て応援（紙おむつ等育児用品支給）事業」の継続や、「妊婦のための支援給付」を実施する。 ・子育て世代の家事・育児の負担軽減を図ることや、子どもの虐待につながるおそれのある家庭を見守ることについては、ヘルパー派遣事業、ショートステイ事業を継続し、家庭や学校以外の子どもの居場所については、他市町村の事例を情報収集しながら、設置に向けて準備を進める。 <p>5：児童虐待防止事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度も引き続き、育児に不安を抱える保護者を対象とし、親向け子育て支援プログラムをグループワーク方式で実施すると共に、個別対応が可能なプログラムもあらたに開始することで、保護者支援を充実する。 ・また、市内の幼稚園・保育園、小中学校への虐待に関する相談窓口の周知を継続し、地域住民に向けた参加しやすい単発のセミナーも開催することで、広く児童虐待防止に関する啓発活動を行う。 ・「親子相談センターひなたぼっこ」については、児童福祉に関する相談全般に対応する「子ども家庭支援員」や、児童虐待の対応や療育支援を専門的に行うケースワーカーの配置に向けた、庁内協議や相談を行っていく。

施策評価シート

内部評価結果	
施策の 評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）			
施策の 評価	3 目標は、全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な 意見	<ul style="list-style-type: none">・各年代の意見を聞けるようアンケートの対象年齢について検討していただきたい。・利用者の意見を聞いたうえで、タクシー以外の他の移動手段へのメニューも検討していただきたい。

施策評価シート

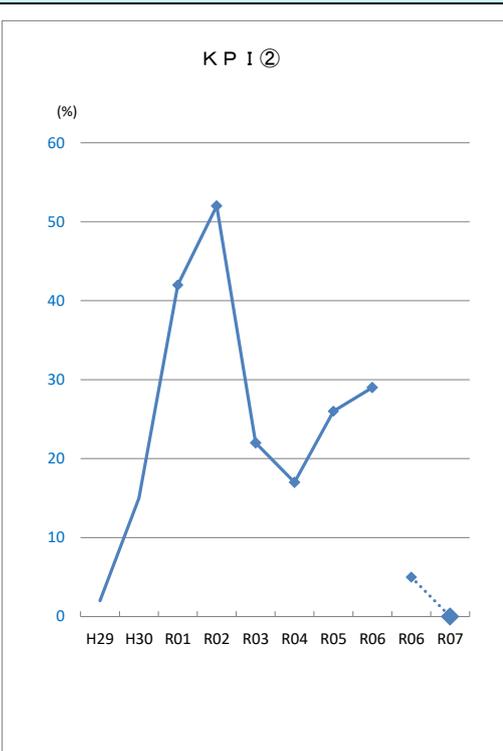
基本目標	基本目標3：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。	数値目標	合計特殊出生率	【R07目標値】 1.4
			【R03実績】 1.0 【R04実績】 1.2	

施策No.	基本的方向	評価実施年度				
6	生活実情にあわせた多様な働き方ができる社会づくりのための啓発や保育サービスを通じて、子育て世代のワークライフバランスを実現させます。	2025	R07			
具体的な施策	子育てをしながらも多様な働き方を実現できる社会づくりのため、ファミリーサポートセンターの運営、放課後児童クラブの運営に対する補助や男女共同参画社会についての研修・啓発を行います。 また、（仮称）病後児保育施設を令和5年度までに設置します。	評価担当部課	保健福祉部 子ども課 市民部 市民協働課			
事業名	ファミリーサポートセンター事業 （仮称）病後児保育事業 放課後児童健全育成事業 男女共同参画推進事業	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			R03	55,082	53,818	97.7%
			R04	56,194	54,536	97.0%
			R05	57,853	54,923	94.9%
			R06	86,511	73,812	85.3%
			R07	69,567		
			計	325,207	237,089	/

施策評価シート

内部評価（1次評価）					
R6年度の 実績の 主な取組 と工夫	<p>1：ファミリーサポートセンター事業 子どもを預かる会員（提供会員）と子どもを預かって欲しい会員（依頼会員）の連絡調整を行うファミリーサポートセンターを運営し、令和6年度の延べ利用者数は、266人であった。 ・また、子どもを預かる会員に対する研修を実施したほか、活動内容をホームページ・広報紙等により周知した。 ・子育て等に関する相談窓口である「親子相談センターひなたぼっこ」において、相談時に事業の案内を行うことで、サポートが必要な子育て世帯に対し支援が行き届くよう取り組んだ。</p> <p>2：（仮称）病後児保育事業 ・ニーズ調査により、子どもが病気になった際の対応や病後児保育施設の利用希望を把握したほか、ファミリー・サポート・センター事業において病後児の預かりを継続して実施した。</p> <p>3：放課後児童健全育成事業 ・留守家庭児童の放課後における健全な育成を図るため、市内の4クラブへの運営費と職員の処遇改善に補助を行った。 ・また、保護者の経済的、事務的負担を軽減するために、多子世帯および一人親世帯の利用料を減免するための経費や、運営に必要な事務を担当する職員の雇用に関する経費への補助のほか、食材費や光熱費など物価高騰に対する支援としての補助についても継続して実施した。 ・さらに、放課後児童クラブたんぼの旭小学校への移転を支援し、令和6年度中に完了した。</p> <p>4：男女共同参画推進事業 ・令和3年3月に策定した「第3次みうら男女共同参画プラン」について、引き続き広報紙やホームページで啓発キャンペーンなどを行った。 ・広報紙「三浦市民」で、イラストやクイズ形式により男女共同参画をまず知ってもらうための記事「男女共同参画キャンペーン」を10回、さらに詳しく知ってもらうための特集として「男女共同参画ニュース」を2回掲載した。 ・ワークライフバランスの向上や男女共同参画社会を目指すための講座を3回実施した。 ・市職員向け研修を5回実施した。（新採用職員研修2回、基礎研修・リーダー研修・政策立案研修を各1回） ・配偶者からの暴力等について専門相談員による女性相談を毎月2回実施し、相談者の一時保護や問題解決のための助言及び支援を行った。相談件数24件（前年度29件 前々年度26件）</p> <p>その他：児童保育実施事業 ・子ども・子育て新制度に基づき、就学前教育を希望する幼児や、就労等により日中家庭において保育を受けられない乳幼児に対し、日中の保育等を実施した。 ・また、幼児教育・保育の無償化に基づき、非課税世帯の0歳から2歳の子どもと、全ての3歳から5歳の子どもの保育料の無償化事務を適正に実施した。 ・さらに、保育施設等への就労希望がある人を対象に、市内の保育関係事業所による就労相談会を開催したほか、保育人材の確保、定着及び離職防止を図るため、保育士の宿舍借り上げを行う保育所等の運営事業等に対し、借り上げに係る費用の一部を補助する事業を開始した。</p>				
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果				
No	事業名	主な取組・成果	No	事業名	主な取組・成果
1	ファミリーサポートセンター事業	延べ利用者数：266名	2	（仮称）病後児保育事業	（仮称）病後児保育の運営方針の策定：0件
3	放課後児童健全育成事業	運営補助：4クラブ	4	男女共同参画推進事業	男女共同参画社会に関する研修会の開催：3回 男女共同参画社会に関する庁内向け研修会の開催：5回 三浦市男女共同参画懇談会の開催：2回 男女共同参画に関するアンケート調査の実施：1件

施策評価シート

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	保育所等の利用待機児童数（翌年度の4月1日）（人）	備考	保育所等の保育児童数（翌年度の4月1日）（人）	備考	放課後児童クラブの利用待機児童数（翌年度の4月1日）（人）		
H29	0	実績値	2	実績値	0	実績値	
H30	0	実績値	15	実績値	0	実績値	
R01	0	実績値	42	実績値	0	実績値	
R02	0	実績値	52	実績値	0	実績値	
R03	0	実績値	22	実績値	0	実績値	
R04	0	実績値	17	実績値	0	実績値	
R05	0	実績値	26	実績値	0	実績値	
R06	0	実績値	29	実績値	0	実績値	
R06	0	目標値	5	目標値	0	目標値	
R07	0	目標値	0	目標値	0	目標値	
達成状況	○		×		○		
KPIの分析	市内の保育所すべてを希望しながら、入所できないという児童は0人であり、本市では0人が継続している。		令和5年度との比較では、3人増となった。令和6年度(令和7年4月1日)は令和5年度(令和6年4月1日)に比べ、申請者数も増加している。		すべてのクラブで、利用希望のあった児童を全員受け入れることができている。待機児童は0人である。		

施策評価シート

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の保育所等の待機児童数は0人（各年4月1日現在）であるが、保留児童数は、令和4年度以降、3年連続で増加している。保留児童の解消や多様化する保育ニーズに対応するため、子育て期の世帯を支援する取組を継続して実施していく必要がある。 <p>1：ファミリーサポートセンター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを預かって欲しい人と子どもを預かる人の会員登録数を増やすことにより、センターの安定した運営を図る必要がある。 ・病後児の預かりについては、令和5年度に提供会員向けの研修を行い、子どもを預かるための体制を整えたが、現在まで利用がない。 <p>2：（仮称）病後児保育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズは一定数あるものの、これまで施設設置を前提とした事業実施方針の策定には至っていない。 ・病後児保育施設の運営は、他市では稼働率が低く、赤字施設が多い状況であることを鑑み、施設設置を前提とした事業実施方針については、再検討の必要がある。 <p>3：放課後児童健全育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の放課後児童クラブすべてが保護者会運営であることから、運営に係る保護者の負担が大きく、また支援員の確保も難しい状況である。継続的で安定的な運営体制を検討する必要がある。 <p>4：男女共同参画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月に「第3次みうら男女共同参画プラン」を策定する前に実施した市民アンケートで、「みうら男女共同参画プラン」の認知度が非常に低いという課題があることが分かった。 <p>その他：児童保育実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童はいないが、保留児童は増加傾向にあり、保育の受け皿のさらなる確保が必要である。特に南下浦地域での保留児童数が多く、保育ニーズの地域的な偏在が生じている。 ・保育士の確保が難しく、十分に児童を受入れることができない状況である。特に新卒の雇用など若手の保育士の確保が困難な状況である。
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：ファミリーサポートセンター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートが必要な子育て世帯に迅速に支援が行き届くよう、相談窓口である「親子相談センターひなたぼっこ」において、引き続き業務を担当する。 ・また、新生児訪問時やホームページ・広報紙等で活動内容を周知することや、子育て支援に関心のある人を対象に提供会員向け研修を開催することにより、子どもを預けたい人と子どもを預かる人の会員登録につなげ、センターの安定した運営を目指す。 ・病後児の預かりについては、関係機関への周知により利用促進を図る。 <p>2：（仮称）病後児保育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市の実施状況を踏まえた運営方針の検討を行う。 ・一定数のニーズが存在することを踏まえ、他市にある病児・病後児保育施設を利用した場合の利用料を補助する制度を開始する。 <p>3：放課後児童健全育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や支援員の負担軽減を目的とした補助金の交付等、国県の補助を活用した放課後児童クラブへの運営支援を継続して実施する。 ・支援員の確保については、保育士の募集と併せて就労相談会を実施するほか、市HPを活用して募集の周知を図る。 ・放課後児童クラブに関わる市民の意見を聴取し、将来に向けた運営方法の検討を行う。 <p>4：男女共同参画推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から市民や市職員へのプランの内容の浸透を第一に取り組んでおり、令和7年度も引き続きプランに基づき、目標の達成に向けて、ワークライフバランスの向上等のための情報発信を行うとともに、女性相談、研修会等を通じ啓発に努める。 ・また、令和7年度は「三浦市男女共同参画懇談会」を5回開催し、「第3次みうら男女共同参画プラン」の目標達成に向けた進行管理を行うとともに、現プランが令和7年度で期間満了となることから次期計画策定に向けた検討を行い、令和8年度からのプランを策定する。 <p>その他：児童保育実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度も引き続き、乳幼児の保育等を実施するとともに、保育料無償化等の制度実施に要する事務を適正に実施していく。 ・保育士を確保するため、市内の保育関係事業所による就労相談会や、令和6年度に開始した家賃補助等の新たな保育士確保のための取組を継続して実施する。 ・三浦海岸駅前に一時預かり事業所を開設し、南下浦地区を中心とした多様化する保育ニーズに対応していく。

施策評価シート

内部評価結果	
施策の 評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

外部評価（2次評価）			
施策の 評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主な 意見	・主な意見なし

施策評価シート

基本目標	基本目標3：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。	数値目標	合計特殊出生率	【R07目標値】 1.4
			【R03実績】 1.0 【R04実績】 1.2	

施策No.	基本的方向	評価実施年度				
7	結婚する希望を持ちながら結婚に至っていない若者に対し、出会いの創出等を通じ、結婚の希望をかなえる支援を行います。	2025	R07			
具体的な施策	市内の有配偶率及び出生率の向上を目指し、結婚する希望を持ちながら結婚に至っていない若者に対し、商工団体や農水産関連の方、市民活動者等により構成する実行委員会において婚活イベントを実施します。	評価担当部課	政策部 政策課			
事業名	結婚支援事業	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			R03	2	0	0.0%
			R04	2	0	0.0%
			R05	2	0	0.0%
			R06	32,102	901	2.8%
			R07	16,202		0.0%
			計	48,310	901	/

施策評価シート

内部評価（1次評価）					
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫 (実 績)	<p>1：結婚支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の有配偶率及び出生率の向上を目指し、結婚する希望を持ちながら結婚に至っていない若者に対し出会いの機会を創出するため、商工農水産関連の方、市民活動者等により構成する三浦市結婚支援実行委員会において神奈川県結婚支援コンシェルジュ事業を活用し、「みうら婚活ツアー」を実施した。 (1) 1回目 令和6年10月27日にツアー開催を予定したが、女性の参加人数が最少催行人数を下回ったため中止とした。 (2) 2回目 ア 実施日：令和7年2月16日 イ 参加者：男性10人（市内在住）、女性10人 ウ カップリング：3組 <ul style="list-style-type: none"> また、若者の結婚後の生活支援を目的とした所得基準を満たした39歳以下の婚姻世帯への住宅取得等費用の補助については、申請のあった2件に補助金を支給した。 <p>その他：農業後継者対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策No. 3-2の事業であるが、農業後継者対策事業において、令和5年度は農業体験型交流イベント（男性農業者と女性参加者の交流の場を提供）として、「アグリde恋来」を開催し、男性5人、女性5人が参加し、交流を深めた。 				
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	結婚支援事業	婚活イベント実施：1回 住宅取得等費用補助件数：2件	2		
3			4		

施策評価シート

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	市が関与して開催した婚活イベントにおけるカップル成立数(組)	備考					
H29	-	実績値					<p>(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)</p>
H30	1	実績値					
R01	5	実績値					
R02	0	実績値					
R03	0	実績値					
R04	4	実績値					
R05	1	実績値					
R06	3	実績値					
R06	4	目標値					
R07	4	目標値					
達成状況	×						
KPIの分析	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度よりは増加したものの、目標達成には至らなかった。 2回を予定していた婚活イベントが1回しか実施できなかったことが、目標不達成の最大の原因と考えている。 イベントが確実に開催できるよう、参加者を集めるため、魅力的なイベントの企画や効果的な情報発信を行っていく必要がある。 						
KPI達成に向けた改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 有配偶率の低さの一つの要因となっている出会いの機会の不足解消を目的とし開催する婚活イベントへの参加者数の確保が課題である。 <p>今後行う改善策・手法</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度に引き続き、三浦市結婚支援実行委員会にて、年2回の婚活イベントの開催を目指す。 アンケート結果等を踏まえ、参加者条件の見直し、イベント内容や時間配分など、参加者の満足度を高めるよう工夫する。 応募者の増加を図るため、インスタグラム、LINE等のSNSも活用し、イベント周知を行っていく。 令和8年度からの次期総合計画の策定に合わせ実施したアンケート結果等を検証し、効果的な施策の実施に向けた検討を行う。 また、若者の結婚後の生活を支援するため、所得基準(世帯所得の合計500万円以下)を満たした39歳以下婚姻世帯に、住宅取得等費用の補助を行う事業を継続して実施していく。 						
内部評価結果							
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。						
外部評価(2次評価)							
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。		主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 婚活市場にいる方の意見を取り入れながら魅力あるイベントの開催方法の検討をお願いする。 婚活イベントのノウハウを持っている企業等との連携を検討いただきたい。 			

施策評価シート

基本目標	基本目標3：「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 三浦市なら結婚・出産の希望をかなえ、安心して子どもを育てることができる、子育てをしながらも働き続けたり、自己実現をめざしたりする気持ちになれるよう、子育て支援と教育環境の向上に向けた総合的な取り組みを展開します。	数値目標	合計特殊出生率	【R07目標値】 1.4
	【R03実績】 1.0 【R04実績】 1.2			

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07		
8	郷土三浦を愛する心を育むため海洋教育の推進等、地域と連携した教育を進めます。 児童・生徒にとってわかりやすく、興味を高める特色のある学習環境を充実し、授業に対する満足度を向上させます。 小中学校の適正な規模及び配置を検討し、教育環境の充実を図ります。	2025	R07		
具体的な施策	三浦市に住み続け、転出しても戻ってきてもらえるよう郷土三浦への愛着を高めるため、(一社)みうら学・海洋教育研究所や東京大学三崎臨海実験所と連携した三浦らしい海洋教育や、地域、地元団体、民間企業等と連携した地域学習を行います。 分かりやすい授業を行うため、令和3年度からは新たにICT支援員の設置によりGIGAスクール構想の推進を図るほか、学校教育の実践や研究に対する支援による教員の資質向上や、教育活動に必要な調査研究による指導の充実を図ります。 さらに、令和元年度に策定した三浦市学校教育ビジョンに基づき、令和7年度を目途に1中学校区1小学校の教育体制を作るため、小学校の適正規模及び適正配置に関して、学校、地域の有識者の意見を参考に取組を進めます。	評価担当部課 教育部 学校教育課 教育総務課			
事業名	海洋教育推進等地域連携事業 グローバル教育推進事業 教育研究所事業 小学校教育環境適正化事業 小学校通学環境整備事業	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
		R03	16,977	11,987	70.6%
		R04	18,236	16,120	88.4%
		R05	37,687	21,535	57.1%
		R06	52,932	44,355	83.8%
		R07	32,388		
		計	158,220	93,997	/

内部評価（1次評価）	
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫 (実 績)	<p>1：海洋教育推進等地域連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学大学院理学系研究科附属海実験所や（一社）みうら学・海洋教育研究所等の関係機関と連携して、市内全ての小中学校において、三浦の海を活用した海洋教育を推進した。 ・また、（一社）みうら学・海洋教育研究所と連携し、市内小中学校による児童・生徒がみうらの海に親しむイベント等の実施を支援し、教育効果を高めた。 ・市内各学校の海洋教育実践については、「みうら学・海洋教育ネットワーク通信」を年間15号発行し情報共有を図った。 ・（一社）みうら学・海洋教育研究所の協力のもと、「海洋教育写真コンテスト」を実施し、優秀作品については三浦市立病院の院内展示や三浦市民まつりなど、計5回の展示を行った。 ・市内小中学校の海洋教育実践の共有の場としている「海洋教育のつどい」については、集合開催として行い、2つの小学校と1つの中学校の実践報告を通して、各校の実践を共有することができた。 ・例えば、漁協、水産加工業者など地元事業者との連携を進める機会を多く設けることができた。 <p>2：グローバル教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から採用したウォーナンブル市からの1名の国際交流推進英語非常勤講師を三崎小学校教育課程特例校国際交流推進非常勤講師として三崎小学校に常駐させることで、グローバル表現科の学習効果を高めることを目指した。また、外国語青年招致事業（JETプログラム）からの派遣講師2名による市内全小学校、中学校での授業により、外国語教育の学習効果を高めることを目指した。 ・同3名の講師は国際交流協会主催の英会話教室の講師も務め、幅広く市民の国際理解を深めた。 ・外国語授業の補助などを行う外国語活動支援員を各小学校に派遣した。 ・よりグローバルな視点を持った社会の担い手として三浦の子どもたちを育成していくために、「三浦市学校教育全体構想」の中の、育てたい三浦の子ども像を実現していくための9つの取組にSDGsの理念を取り入れた。 ・三浦市教育研究会総会を集合開催し、全教職員対象に「三浦市学校教育全体構想」についての説明を行った。育てたい三浦の子ども像に向けての取組について説明する際に、今年度はSDGsの17の目標（理念）の視点をさらに取り入れながら実現を目指していくこと、そして各教科学習や総合的な学習の時間、環境教育、食育教育、キャリア教育等についてもSDGsの視点を踏まえて推進することを確認した。 ・市内各学校においては、様々な教科でSDGsの視点を意識した授業実践が行われた。 <p>3：教育研究所事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の実践や研究に対応する支援を行い、教員の資質向上の一助とした。 ・教育活動に必要な調査、研究を行い、地域学習に役立つ資料の作成や更新を行った。 ・教職員の教育力向上を図るために、他教育機関から送付されてくる図書の整備を図った。 ・理科実験、授業改善、コンピュータ、人権教育、道徳教育などの各種研修会を様々な形式で開催し、指導上の諸問題の解明を図るとともに指導力の向上に努めた。 ・神奈川県から「人権教育総合推進地域事業」及び「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」を受託し、小中学校において講演会や研修会等を実施した。 ・小中学校におけるICT機器活用の推進を図るためにICT支援員を配置した。 ・「みうらっ子学力アッププロジェクト」の一環として、「三浦市学力調査」を実施した。その結果を分析し、課題を共有した。 <p>4：小学校教育環境適正化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月の南下浦小学校及び剣崎小学校の統廃合に向けて、統廃合個別計画に基づく統廃合準備委員会を4回開催し、各部会（教育課程部会、交流部会、PTA部会、安全部会、閉校準備部会）の状況を確認しながら準備を進め、令和7年3月26日に剣崎小学校の閉校式を行い、令和7年4月1日に南下浦小学校と統廃合を行った。 ・閉校に伴い剣崎小学校の敷地内にあった国有地を整理するため、測量及び境界確定により面積を確定し、国有地の買い取りを行った。 ・三崎地区については、統廃合検討対象校の三崎小学校について、将来的な三崎地区の再編を含めて三崎地区の3つの小学校のPTA役員と意見交換会を行い、意見の確認をした。 ・初声地区については、小中連携教育を推進するため、教職員による初声地区小中一貫教育推進委員会が中心となり、学校教育目標をもとに子どもの実態と身に付けたい資質能力について、話し合いを行った。 ・また、中学校の先生が小学校の授業を行う乗り入れ授業や年1回、行っている津波避難訓練を合同で実施した。 ・地域連携を推進するため、地域とともにある学校づくり協議会を5回開催して、学校支援の在り方を協議し、環境整備（昇降口の下駄箱のペンキ塗り）を行うとともに、児童、保護者、地域等を巻き込んだ子どもの居場所づくりのイベントを計画したが、荒天のため中止となった。 <p>5：小学校通学環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩通学が困難な地域からバスを利用して小学校に通学している児童の保護者に対して、定期代の補助を行い、経費負担の軽減を図った。（補助件数131件） ・初声小学校に通学する公共交通機関の無い高円坊地区の児童に対し、バスの駐車場所を昨年度より1カ所増設し、3カ所を駐車場所にしてスクールバスを運行することで、通学の安全を図った。

施策評価シート

構成事業の令和6年度の主な取組と成果							
No	事業名	主な取組・成果			No	事業名	主な取組・成果
1	海洋教育推進等地域連携事業	海洋教育教材を活用した授業実施：全小中学校 市ホームページでの情報発信：20回 海洋教育写真コンテストの開催：1回 海洋教育写真コンテストの優秀作品のみうら市民まつり等での展示：5回 海洋教育のつどいの開催：1回			2	グローバル教育推進事業	小学校での英語授業実施 国際交流推進非常勤講師：186日 三崎小学校教育課程特例校国際交流推進非常勤講師：186日 外国語支援員（ボランティア）：180日 中学校での英語授業実施 国際交流推進非常勤講師：186日 ブラウアーカレッジとのオンラインによる交流回数：0回 SDGsの視点を持った授業実践：全小中学校
3	教育研究所事業	教育相談員の配置1名：14日 市内小中学校での校内研究の実施：全小中学校 ICT支援員の配置3名：303日			4	小学校教育環境適正化事業	南下浦小学校と剣崎小学校の統廃合に向けた規程の整備：1件 地域とともにある学校づくり協議会開催：5回
5	小学校通学環境整備事業	スクールバスの運行：1件 小学校通学環境整備事業補助金交付：131件			6		
KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI①		KPI②		KPI推移グラフ
	学校評価に係るアンケートで「三浦市のことが好き」という評価（小学校）（%）	備考	学校評価に係るアンケートで「三浦市のことが好き」という評価（中学校）（%）	備考	学校評価に係るアンケートで「授業が分かりやすかった」という評価（%）	備考	
H29	-	実績値	-	実績値	87.2	実績値	<p>● 学校評価に係るアンケートで「三浦市のことが好き」という評価（小学校）（%） ■ 学校評価に係るアンケートで「三浦市のことが好き」という評価（中学校）（%）</p>
H30	-	実績値	-	実績値	87.5	実績値	
R01	-	実績値	-	実績値	77.9	実績値	
R02	94.0	実績値	84.0	実績値	89.0	実績値	
R03	93.0	実績値	85.0	実績値	89.5	実績値	
R04	94.0	実績値	84.0	実績値	88.0	実績値	
R05	96.0	実績値	87.0	実績値	90.5	実績値	
R06	96.0	実績値	89.0	実績値	91.5	実績値	
R06	95.0	目標値	90.0	目標値	85.0	目標値	
R07	95.0	目標値	90.0	目標値	85.0	目標値	
達成状況	○		×		○		
年	KPI③						
	三浦市学校教育ビジョンの進捗						
H29						実績値	
H30						実績値	
R01						実績値	
R02						実績値	
R03	学校教育ビジョンの見直しに向けた教職員を対象としたアンケート調査の実施					実績値	
R04	学校教育ビジョンの見直しの完了					実績値	
R05	南下浦小学校・剣崎小学校統廃合個別計画策定					実績値	
R06	統廃合に向けた規程の整備 南下浦小学校及び剣崎小学校の統廃合 初声地区小中学校における共通教育目標の策定					実績値	
R06	統廃合に向けた規程の整備 初声地区小中学校における共通教育目標の策定					目標値	
R07	南下浦小学校及び剣崎小学校の統廃合 初声地区における小中一貫教育の開始 三崎・南下浦地区ごとのランドデザイン統一様式の決定					目標値	
達成状況	○						

（※R06からR07の数値（点線）は、目標値となります。）

施策評価シート

KPIの分析

市独自で実施した「令和6年度三浦市学校教育全体構想に係る児童生徒アンケート」の結果をもとに考察する。

KPI①

- ・「①三浦市が好きですか」という質問に対して、小学校は96.0%、中学校89.0%であった。
- ・地域への愛着については、小学生は一定程度育っていると考えられる。中学生も、目標値には達してはいないものの、コロナ禍も明け、地域を題材とした校外学習活動を行うことができるようになったため、数値の上昇が見られたと思われる。また、小学校時代から親しんできた海などの自然に対して愛着をもっていたことも大きいと考えられる。今後も、各学校において、三浦を題材にした授業・コンテンツの提供を工夫して行えるよう、支援していく必要がある。

KPI②

- ・「授業が分かりやすかった」という設問に対して、小学校は92%、中学校は91%であった。
- ・各学校で「主体的・対話的で深い学び」を意識した研究テーマをもとに、個々の考えを互いに伝えながら課題を解決する授業スタイルが確立してきたことや、個に応じたきめ細かな指導が充実してきたためと考える。

KPI③

- ・令和7年4月の剣崎小学校の閉校に向けて、三浦市立学校設置条例及び三浦市学校給食共同調理場設置条例について、令和6年第3回三浦市議会定例会で議決を経て一部改正を行った。
- ・令和6年度は初声小学校・初声中学校の教頭・総括教諭二名ずつで構成された推進委員会にて、子どもの実態と身に付けたい資質・能力をもとに、共通教育目標について話し合った。「自分の考えを伝え合って互いに高めあう力」「自己理解・自己調整」「土台となる基礎基本の力」など、共通の教育目標を策定した。
- ・剣崎、毘沙門方面の通学バスについては、京急バスと協議をし、登校時のバスの増便及び下校時の運行時間の見直しを行った。
- ・また、剣崎、毘沙門方面に行く高抜のバス停については、児童の安全確保のため、バス停の待合スペースの拡張整備を行った。

施策評価シート

KPI達成に向けた課題 今後の改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <p>1：海洋教育推進等地域連携事業 海業の視点を取り入れた授業実践について、海業のことを意識して行われた実践はまだそれほど多くない。市内小・中学校に通う子どもたちが海業を視点とした三浦の産業等についてさらに魅力を感じられるようにする必要がある。</p> <p>2：グローバル教育推進事業 ・小・中学校の連携をさらに推し進める必要がある。 ・三崎小学校「グローバル表現科」のさらなる推進のための支援と、その成果の発信を行う必要がある。</p> <p>3：教育研究所事業 「授業が分かりやすかった」という設問に対して、小学校は92%、中学校は91%と高水準の結果が出ているものの、令和6年4月に行った「三浦市学力調査」の結果からは、自分の考えを伝えたり、書いたりするなどの思考力・判断力・表現力において課題があり、その力の向上を目指す必要がある。</p> <p>4：小学校教育環境適正化事業 ・学校と地域が連携するだけでなく、策定した共通の教育目標を地域と協働しながら具体化していくためには、地域とともにある学校づくり協議会の機能をより強化する必要がある。</p>
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：海洋教育推進等地域連携事業 ・地域社会への関心度向上のため、「みうら学」「海洋教育」の取組に注力していく。これまでに行ってきた（一社）みうら学・海洋教育研究所や東京大学臨海実験所等の関係機関と連携した取組とともに、引き続き地元漁師や農家、事業者など地域教育力を活用した授業づくりを支援していく。 ・令和7年度も、各学校における海洋教育カリキュラムについて、「みうら学・海洋教育ネットワーク通信」や三浦市のホームページ、SNSを通して周知を図ったり、授業実践の共有化を行ったりする。また、市内小中学校の代表教員が委員を務めるみうら学・海洋教育推進委員会や三浦市学校教育研究会の海洋教育部会等との連携により、海業の視点を取り入れた授業実践の在り方について考えていき、市内小中学校に通う子どもたちが海業を視点とした三浦の産業等についてさらに魅力を感じられるようにする。</p> <p>2：グローバル教育推進事業 ・ウオーナンプール市から招聘している国際交流推進英語非常勤講師1名とJETプログラムによる講師の2名を引き続き派遣し、市内小中学校の英語教育をさらに充実したものにしていく。文部科学省の教育課程特例校に指定された三崎小学校の「グローバル表現科」を推進するため、三崎小学校にそのうち1名の講師を派遣して外国語教育の支援を行う。また、その成果の発信についても支援する。 ・各学校で実践されたSDGsの視点を取り入れた授業について、「みうら学・海洋教育ネットワーク通信」や三浦市のホームページ、SNSを利用した周知や、授業実践の共有化を図る。</p> <p>3：教育研究所事業 ・一人一台のタブレット端末や電子黒板を整備し、積極的に授業の中での調べ学習や発表場面を中心に活用することで、分かりやすい授業の推進に努めている。令和7年度も引き続きICT支援員を2名以上配置し、更なる効果的な授業支援を行い、市内全体で共有化を図る。 ・令和6年度から開始した「みうらっ子学力アッププロジェクト」を継続実施し、みうらっ子の自己肯定感を高め、自らの成長が実感できる学びづくりを目指す。特に、自分の考えを伝えたり、書いたりするなどの思考力・判断力・表現力の向上がなされるような学びづくりの支援を行う。 ・令和7年度も県から「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」を受託することが決定したため、各学校において大学教授等の講師を招聘し、研修会等を実施するとともに積極的に市内で共有していく。</p> <p>4：小学校教育環境適正化事業 ・学校運営に地域の声をより一層生かしていくために、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる学校運営協議会を初声地区に設置していく。</p>
内部評価結果	
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主な意見 <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査のフィードバックがその後の学力向上に繋がるよう検討をお願いする。 ・放課後の子どもの居場所づくりについて協議を続けていただきたい。

施策評価シート

基本目標	基本目標 4：「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」 生きがいを持って生涯を過ごすことができるよう、市民の健康力が高まる環境づくりなどを通して、要介護者の増加を抑制します。 また、市有財産の老朽化対策や空き家の対策など、人口減少社会に合った住みよい地域づくりを行います。	数値目標	市民アンケートで三浦市を「住みよい」と回答した人の割合	【R06目標値】 57.2% ----- 【R06実績】 45.9%

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07																												
9	病気の予防、早期発見機会の充足及び健康寿命の延伸のため、各種健診（検診）受診率等を向上させます。	2025	R07																												
具体的な施策	がん検診事業、健康診査事業、特定健康診査等事業などによる病気の予防・健康増進策により市民の健康力を増進します。	評価担当部課	保健福祉部 健康づくり課 保険年金課 子ども課 市立病院 医事課																												
事業名	がん検診事業 健康診査事業（一般） 特定健康診査等事業 健康診査事業（国保） 中学生に対するピロリ菌対策事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f0f0f0;">年度</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0f0f0;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">R03</td> <td style="text-align: center;">141,952</td> <td style="text-align: center;">121,795</td> <td style="text-align: center;">85.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R04</td> <td style="text-align: center;">140,283</td> <td style="text-align: center;">130,135</td> <td style="text-align: center;">92.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R05</td> <td style="text-align: center;">142,096</td> <td style="text-align: center;">121,491</td> <td style="text-align: center;">85.5%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R06</td> <td style="text-align: center;">139,210</td> <td style="text-align: center;">126,709</td> <td style="text-align: center;">91.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R07</td> <td style="text-align: center;">135,988</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">699,529</td> <td style="text-align: center;">500,130</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	R03	141,952	121,795	85.8%	R04	140,283	130,135	92.8%	R05	142,096	121,491	85.5%	R06	139,210	126,709	91.0%	R07	135,988			計	699,529	500,130	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
R03	141,952	121,795	85.8%																												
R04	140,283	130,135	92.8%																												
R05	142,096	121,491	85.5%																												
R06	139,210	126,709	91.0%																												
R07	135,988																														
計	699,529	500,130	/																												

施策評価シート

内部評価（1次評価）						
R6年度の主な取組と工夫（実績）	<p>1：がん検診事業【対象者：40歳以上の市民（子宮頸がん検診は、20歳以上の市民）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月に子宮がん・乳がん検診のクーポン発送を行い、9月時点で未受診の方に受診勧奨再通知を送付した。クーポン紛失等は窓口での再交付手続きを必要としていたが、再勧奨通知をクーポンとして使用可とし対象者の利便性を図った。 ・子宮がん検診は、令和2年度より無料クーポン券対象者を除く20歳代の女性に対して自己負担の無料を継続している。 ・大腸がん検診については、令和4年度より40～59歳に対して自己負担無料を継続している。 ・市民が多く参加する事業にて、がん検診の重要性をアピールする内容のブースを展開した。 ・肺がん検診については、強化年の対策として50～69歳に対して個別に受診勧奨通知を送付し、集団方式による受診者が前年度比34%増加した（令和5年719人、令和6年964人）。 <p>2：健康診査事業（一般）【対象者：後期高齢者医療保険被保険者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康状態不明者を対象に通知や訪問等で受診を促した。 ・年度末年齢76歳の者に封書による受診勧奨を行った。封書にはイラストを配置し関心を惹くデザインとした。 <p>3：特定健康診査等事業【対象者：国民健康保険被保険者で40歳から74歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に引き続き、自己負担額を無料とし、個別健診は受診期間を5月から翌年2月末まで、集団健診は6月から12月までの12回を実施した。 ・令和5年度に引き続き、受診率向上事業として、民間事業者への委託により、特定健診を受診したことがある人へ葉書による勧奨を行う際に、KDBシステムなどを活用し、過去の間診票の結果により対象者を4分類したうえで、過去5年分の受診履歴や、年齢、性別等のデータから、AIにより受診確率の高い対象者を抽出し、それぞれの心理特性にあった文面で9月に勧奨を行った。また、特定健診を受診したことがない人に対する受診勧奨として、生活習慣病による受診歴の有る人、無い人と前年度に国保に加入した人に3分類し、受診歴の有る人には、通院中でも健診で見つかる可能性のある病名を記載、受診歴の無い人は、健診にネガティブなイメージを持たないように、短時間で無料であることを記載、また、前年度に国保に加入した人には、自身が国保加入者で健診対象であることを認識いただく記載とした。 ・さらに12月には、未受診者を前年度に特定健診を受診した方としなかった方に分類し、前年度受診した方には連続受診することで細かい経年変化が確認できること等の内容で、前年度受診しなかった方には受診期限が迫っていることや健診時間が短く、検査費用が無料であること等の内容で周知した。こうしてそれぞれの心理特性にあった文面で勧奨を行った結果、勧奨前後での比較で、受診率は6.1%増加した。 ・医療機関から健診対象者への受診勧奨用にチラシを作成し、市内の診療所等の窓口に配架した。 ・その他次の方法で受診勧奨をした。 <ul style="list-style-type: none"> ●デジタルサイネージの活用（市役所本庁舎、宮川公園、市立病院、三崎水産物地方卸売市場の飲料販売機に隣接してある市内4ヶ所） ●明治安田生命と連携し各種健診に関するリーフレットの配布を実施した。 <p>4：健康診査事業（国保）【対象者：国民健康保険加入者で35歳から74歳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月から市立病院において、被保険者の疾病予防と健康管理を目的とした1日人間ドック事業を行った。自己負担額は令和5年度と同額の17,000円とした。 ・特定健診未受診者に対する受診勧奨葉書に人間ドックに関する情報を大きく掲載した結果、前年度と比較して受検者は36人（9.5%）増加した。 <p>5：中学生に対するピロリ菌対策事業〔子ども課〕</p> <p>ヘリコバクター・ピロリ菌感染によって発生する可能性のある、胃がんを始めとした消化器疾患の発生を防ぐため、中学2年生を対象として検査を実施し、陽性者には治療費の一部を助成する事業を実施した。</p> <p>その他：市立病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「三浦市民」や病院NEWS等で周知を図り、健診予約受付時には同時に受検できる脳ドックや各種がん健診等を案内した。 					
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
	No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
	1	がん検診事業	受診者 肺がん：3,458人 胃がん：279人 大腸がん：2,899人 子宮頸がん：1,734人 乳がん：1,068人	2	健康診査事業（一般）	受診者：1,885人
	3	特定健康診査等事業	特定健康診査受診率：28.1%(速報値) 特定保健指導実施率：11.8%(速報値)	4	健康診査事業（国保）	受検者：416人（定員600人） 受検率：69.3%
5	中学生に対するピロリ菌対策事業	一次検査の実施率：71.7%	6			

施策評価シート

K P I の進捗状況									
年	K P I ①							備考	
	がん検診重点取組年代別における検診受診率 (%)								
	子宮がん (20-29歳)	大腸がん (40-49歳)	大腸がん (50-59歳)	乳がん (40- 49歳)	肺がん (50- 59歳)	肺がん (60- 69歳)	胃がんリスク (40-49歳 初回受診 者)		
H29	8.1	2.5	3.5	9.9	3.3	8.9	2.0	実績値	
H30	8.1	2.6	3.7	7.8	3.6	9.6	1.7	実績値	
R01	9.1	2.2	3.8	7.7	3.4	8.9	1.9	実績値	
R02	11.4	2.1	3.4	5.1	3.2	8.9	1.5	実績値	
R03	14.0	3.0	3.9	8.2	3.7	9.5	1.4	実績値	
R04	10.9	7.8	10.0	6.8	4.1	10.0	1.3	実績値	
R05	11.9	3.8	3.8	10.6	3.1	8.7	1.3	実績値	
R06	11.5	2.8	4.3	7.3	5.4	10.5	1.3	実績値	
R06	10.4	3.5	5.1	9.0	4.7	10.2	2.3	目標値	
R07	10.5	3.6	5.2	9.1	4.8	10.3	2.8	目標値	
達成 状況	○	×	×	×	○	○	×		
年	K P I ②		K P I ③		KPIの分析				
	特定健診受 診率 (%)	特定保健指 導実施率 (%)	市立病院に おける人間 ドック受診 者数 (三浦 市民) (人)	市立病院に おける脳 ドック受診 者数 (三浦 市民) (人)	備考	KPI①			
						<ul style="list-style-type: none"> がん検診事業では、事業の効果的な実施のため、年度ごとに、重点強化項目を設定し、がん好発年齢の対象者への取り組みを行っていくこととしている。 令和6年度については、肺がん検診の50～69歳の受診率向上を目標とし、イベント会場での啓発グッズ配布や個別通知による受診勧奨等を重点的に行った結果、目標値を上回る成果があった。 南下浦コミュニティセンターががん検診会場として開設可能となり、対象者の利便性が上がった。 目標値を上回った子宮がん検診、肺がん検診は個別に受診勧奨通知を送付している。 40歳代の大腸がん検診と乳がん検診は1ポイント以上受診率が低下している。検診受診の妨げになっているネガティブ意識を「健康を守る」という意識に置き換えるような働きかけが重要である。 			
						KPI②			
H29	22.2	32.3	884	337	実績値	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診については、令和5年度（法定報告確定値）は、7,707人に対し2,500人、令和6年度（法定報告速報値）は、7,248人に対し2,034人が受診した。 特定保健指導は、令和5年度（法定報告確定値）は285人に対し86人、令和6年度（法定報告速報値）は、255人に対し30人である。今後、人数は伸びる予定である。（※特定健診・特定保健指導の令和6年度の値は速報値であり、11月以降に確定する予定。）なお、前年度同時期は、特定健診が7,756人に対し2,294人(29.5%)、特定保健指導が255人に対し30人(19.0%)である。 速報値における前年度同時期比較において、受診率が前年度より低下している。特定健診のうち、集団検診の受診者数は増加したものの、個別健診の受診者数が大幅に低下している。 			
H30	23.7	34.4	889	271	実績値				
R01	24.9	30.3	907	331	実績値				
R02	24.7	36.7	760	237	実績値				
R03	30.2	28.1	839	251	実績値				
R04	31.8	28.7	907	252	実績値				
R05	32.4	30.2	839	212	実績値				
R06 (速報 値)	28.1	11.8 (速報 値)	878	233	実績値				
R06	34.5	29.0	744	348	目標値	KPI③			
R07	36.0	29.2	745	366	目標値	<ul style="list-style-type: none"> 人間ドックおよび脳ドックの受診状況を、昨年度実績と比較し、受診者数は増加しているが、目標値については、脳ドックの受診者数が目標に達しなかった。 			
達成 状況	×	×	○	×					

施策評価シート

K P I 達 成 に 向 け た 課 題 と 今 後 の 改 善 策 ・ 手 法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <p>1：がん検診事業 受診率向上のための取組として ・がん検診に無関心者が関心をよせる啓発活動の展開。 ・がんの発症が増えてくる働き世代のがん検診の受診率が低いことが課題になっている。 ・KPI達成に向けた取組により働き世代の初回受診者が徐々に増えているが、今後は継続受診につながる取組もあわせて必要である。</p> <p>3：特定健康診査事業 ・未受診者のうち、過去3年間特定健診を受診したことが無い方が多く、この方たちを受診に繋げていくことが課題である。</p> <p>4：健康診査事業（国保） ・国保ドックについて、令和6年度は受診者数が増加したものの、対象者数が年々減少している状況であり、引き続き、受診者増加のための対策が課題である。</p> <p>5：中学生に対するピロリ菌対策事業 ・子どものピロリ菌感染は、将来胃潰瘍や胃がん等の疾病につながる可能性があるため、疾病予防や医療費削減の観点から、本事業の継続的な実施は必要である。 ・また、受診率向上のためには、検体容器の回収率向上の取組が必要である。</p> <p>その他：市立病院 ・人間ドッグの受診者数の維持及び脳ドッグの受診者増加のための対策が課題である。</p>
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：がん検診事業 ・がん検診等の普及啓発については、既存の健康相談や教室、保健衛生委員研修会やイベント等、人が多く集まる機会を利用して実施する。また広報紙やホームページなど情報提供を継続して実施する。 ・重点取組年代別の検診受診率向上に向けた取組としては、子宮頸がん検診は20歳代女性に対して、大腸がん検診には40～50歳代に対して、自己負担の無料を継続していく。また、子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券送付、未受診者に対して再受診勧奨通知を送付する。LINEシステムを利用した一部検診予約を実施する。 ・令和7年度の重点強化取組として、40歳代胃がんリスク未受診者を対象に個別通知による受診勧奨を行う。</p> <p>3：特定健康診査事業 ・引き続き、特定健診を受診したことがない方の掘り起こしを継続するとともに、特定健診を受診したことがある人を連続受診に導くよう受診勧奨の内容等を工夫していく。</p> <p>4：健康診査事業（国保） ・令和6年度に特定健康診査事業の受診勧奨ハガキにて、国保ドックについても併せて周知した。令和7年度も同様に実施していく。 ・引き続き、三浦市立病院と連携し、検査項目の見直しや受診対象者への周知方法等を検討し、受診者の増加に向け取り組んでいく。</p> <p>5：中学生に対するピロリ菌対策事業 ・令和7年度も引き続き、体形が成人に近く検査や治療がほぼ成人と同様に行える中学2年生を対象としてピロリ菌検査を実施し、治療対象となった場合には治療費の補助を行う。 ・受診率向上の取組としては、今後も各中学校との事前打ち合わせを行い、検査容器の提出が増えるよう提出日を決定するとともに、市のホームページとLINEを活用した周知や、各中学校の協力を得て、学校から保護者への連絡ツールであるマチコミを活用した通知を継続する。</p> <p>その他：市立病院 ・広報紙「三浦市民」やホームページ等による周知を継続する。さらに三浦市LINE等を利用し、新たな周知方法の検討を行っていく。また、健診予約受付時に、同時に受検できる脳ドッグや各種がん健診等を案内するほか、受診日の希望に添えるよう調整を行う。</p>

施策評価シート

内部評価結果	
施策の 評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

外部評価（2次評価）			
施策の 評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主な 意見	・主な意見なし

施策評価シート

基本 目標	基本目標 4：「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」 生きがいを持って生涯を過ごすことができるよう、市民の健康力が高まる環境づくりなどを通して、要介護者の増加を抑制します。 また、市有財産の老朽化対策や空き家の対策など、人口減少社会に合った住みよい地域づくりを行います。	数値 目標	市民アンケートで三浦市を「住みよい」と回答した人の割合	【R06目標値】 57.2% ----- 【R06実績】 45.9%

施策No.	基本的方向	評価実施年度				
10	高齢者が在宅のまま安心して生活を営める環境を整備するとともに、適切な介護認定と介護予防の普及・啓発及び在宅介護サービスの充実等により、施設入所を必要とする要介護者の増加を抑制します。	2025	R07			
具体的な 施策	元気な高齢者を増やすため、気軽に集い介護予防に取り組むことができる元気アップ教室やふれあいサロン事業の充実、介護予防の普及啓発などを行います。	評価 担当 部課	保健福祉部 高齢介護課			
事業名	地域介護予防活動支援事業 介護予防普及啓発事業 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			R03	16,719	14,050	84.0%
			R04	16,083	14,917	92.8%
			R05	17,252	16,080	93.2%
			R06	19,542	18,452	94.4%
			R07	20,296		
			計	89,892	63,499	/

施策評価シート

内部評価（1次評価）					
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫 (実 績)	<p>1：地域介護予防活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設を利用して活動する高齢者グループを対象とし、運動実技や介護予防に関する知識の習得を目的とした「元気アップ教室」の開催や、気軽に集うことができる「みうら・ふれあいサロン事業」を実施した。 ・「元気アップ教室」の参加者数を増やすため、男性限定の体験講座を設けて、気軽に体験してもらうことで、男性にも参加しやすいような環境づくりに取り組んだ。 ・また、みうら市民まつりのステージにおいて、みうら名産地体操の紹介と実演を行い、元気アップ教室の周知を行った。 ・地域力を活かした高齢者支援としては、介護予防サポーターと傾聴ボランティアを養成するとともに、介護予防事業等で活動する介護予防サポーターや傾聴ボランティアを支援した。 <p>2：介護予防普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル状態にある高齢者を早期発見、対応するため、「いきいきシニア講座」の実施や、認知症予防等を目的とした「脳の健康教室」を開催した。 ・「いきいきシニア講座」では、「三浦ならではのフレイル予防」と題して、フレイル予防の三本柱である「栄養・身体活動・社会参加」をテーマに、農漁業の分野の協力も得て、調理実習や野菜栽培など、日常生活に反映できるような体験型を新しく取り入れた。 ・また、みうら市民まつりにおいて、簡易フレイルチェック測定コーナーと脳年齢チェックコーナーを出展し、来場者に体験してもらいながら、フレイルチェックや脳の健康教室の周知を行った。 ・高齢者を支える方の支援としては、フレイルサポーターを養成するとともに、フレイルチェックで活動するフレイルトレーナーやフレイルサポーターを支援した。 <p>3：高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に策定した令和6年度から令和8年度までの3年間の第9期三浦市高齢者保健福祉計画・三浦市介護保険事業計画について、進捗管理を行った。 				
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	地域介護予防活動支援事業	元気アップ教室の開催：753回 ふれあいサロンの実施：140回 傾聴ボランティア養成講座の開催：4回 介護予防サポーター研修会の開催：2回	2	介護予防普及啓発事業	いきいきシニア講座の開催：6回 脳の健康教室の開催：76回
3	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業	介護保険事業推進委員会の開催：2回	4		
5			6		

施策評価シート

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	要介護等の状態でない元気な高齢者率 (%)	備考					
H29	82.6	実績値					
H30	81.8	実績値					
R01	81.5	実績値					
R02	80.9	実績値					
R03	80.4	実績値					
R04	79.5	実績値					
R05	78.6	実績値					
R06	78.3	実績値					
R06	79.5	目標値					
R07	78.5	目標値					
達成状況	×						
KPIの分析	<p>KPI①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内（4月から3月まで）における1ヶ月平均の第1号被保険者数は、令和5年度は16,118人であったのに対し、令和6年度は15,870人となり、248人減少した。 ・また、第1号被保険者における要介護（要支援）認定者数の年度内（4月から3月まで）における1ヶ月平均も、令和5年度は3,456人であったのに対し、令和6年度は3,436人となり、20人減少した。 ・このことにより、元気な高齢者率は、令和5年度と比較して0.3ポイント減少したが、前年度及び前々年度の減少率0.9ポイントよりも抑制された。 ・今後も高齢者の平均年齢は上昇し続け、元気な高齢者の割合は減少することが予想される。上記の目標値は、この減少を抑制する目標値となっている。 						
	<p>（※R06からR07の数値（点線）は、目標値となります。）</p>						

施策評価シート

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の高齢化率は、県内でも高い（市部では最も高い）高齢化率であり、また、75歳以上の後期高齢者の割合が伸びている現状である。 ・元気な高齢者の割合の減少を抑制していくには、介護予防の取組は重要であり、とくに介護予防に無関心な方に対して、いかにして取組を周知し、介護予防を自分事化してもらえるかが課題である。 <p>今後行う改善策・手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度もみうら市民まつりに、簡易フレイルチェック測定コーナーと脳年齢チェックコーナーを出展して、世代に関係なく来場者に体験してもらうことで、教室等に繋がりのない方や無関心層への口コミ等による周知を図り、参加者の増加を目指す。 ・「元気アップ教室」は、現在の13会場17コースの開催を継続して実施し、地域の高齢者グループのニーズにも注視しながら、コースの創意工夫を行い、誰でも参加しやすい教室づくりに取り組んでいく。 ・「脳の健康教室」は、現在の2コースの開催を継続して実施し、参加者が楽しく継続的に参加することができる教室づくりに取り組んでいく。また、フレイルサポーターの養成研修も継続して実施していく。 ・その他として、リハビリテーション活動支援事業については、KPIの達成状況等を踏まえ、次期総合戦略上の施策とするか検討を行う。
内部評価結果	
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）				
施策の評価	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な意見</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の対応について、現場の意見を聞きながら、参加者とフレイルサポーターが一緒になって取組めるような対策を進めていただきたい。 ・独居や介護の必要のない方の把握や対応について、意見を聞きながら次の施策に活かしてもらいたい。 </td> </tr> </table>	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の対応について、現場の意見を聞きながら、参加者とフレイルサポーターが一緒になって取組めるような対策を進めていただきたい。 ・独居や介護の必要のない方の把握や対応について、意見を聞きながら次の施策に活かしてもらいたい。
3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の対応について、現場の意見を聞きながら、参加者とフレイルサポーターが一緒になって取組めるような対策を進めていただきたい。 ・独居や介護の必要のない方の把握や対応について、意見を聞きながら次の施策に活かしてもらいたい。 		

施策評価シート

基本目標	基本目標 4：「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」 生きがいを持って生涯を過ごすことができるよう、市民の健康力が高まる環境づくりなどを通して、要介護者の増加を抑制します。 また、市有財産の老朽化対策や空き家の対策など、人口減少社会に合った住みよい地域づくりを行います。	数値目標	市民アンケートで三浦市を「住みよい」と回答した人の割合	【R06目標値】 57.2% ----- 【R06実績】 45.9%

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07																												
12	市内に所在する空き家について、空家対策特措法を踏まえ、対策を行います。	2025	R07																												
具体的な施策	適切に管理されていない空家等が防災、衛生、景観等の市民の生活環境に影響を及ぼしていることから、空家等の対策及び活用を図ります。	評価担当部課	都市環境部 都市計画課																												
事業名	空き家対策事務事業	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f2f2f2;">年度</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f2f2f2;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td style="text-align: center;">1,030</td> <td style="text-align: center;">809</td> <td style="text-align: center;">78.5%</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td style="text-align: center;">1,030</td> <td style="text-align: center;">887</td> <td style="text-align: center;">86.1%</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td style="text-align: center;">3,679</td> <td style="text-align: center;">3,527</td> <td style="text-align: center;">95.9%</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td style="text-align: center;">1,285</td> <td style="text-align: center;">1,214</td> <td style="text-align: center;">94.5%</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td style="text-align: center;">1,435</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">8,459</td> <td style="text-align: center;">6,437</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>		年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	R03	1,030	809	78.5%	R04	1,030	887	86.1%	R05	3,679	3,527	95.9%	R06	1,285	1,214	94.5%	R07	1,435			計	8,459	6,437	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
R03	1,030	809	78.5%																												
R04	1,030	887	86.1%																												
R05	3,679	3,527	95.9%																												
R06	1,285	1,214	94.5%																												
R07	1,435																														
計	8,459	6,437	/																												

施策評価シート

内部評価（1次評価）					
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫 (実 績)	<p>1：空き家対策事務事業 令和元年8月23日付けで策定した「三浦市空き家等対策計画」に掲げる「発生予防」、「適切な管理の促進」、「利活用の促進」の3つの基本方針に基づき、次のとおり各施策に取り組んだ。また、同計画の実施及び改定に向けた協議等を行うため空き家等対策協議会を開催した。</p> <p>【発生予防】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページを活用し、空き家対策に関する情報提供を行った。 ・死亡届や転居届が提出された際、空き家の活用や相続等を記載した空き家情報冊子を配布した。 <p>【適切な管理の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度中に市民から空き家等に対する相談があった件数は計52件で、前年度比14件の増加であった。これらの各物件について現地調査の上、税務情報等を収集して所有者確認を行い、所有者等に対して指導を実施した。指導においては、文書により適切な管理を促すほか、危険性に応じて改善措置や必要な解体等の実施を要請した。また、文書指導だけでは対応されないケースも多くある中、状況に応じて直接所有者等を訪問し、早急な対応を求めた。 結果として、外壁、屋根、傾き等に問題があり危険性を伴う空き家等として把握していた235件のうち7件が解体等に至り、敷地内の草刈・害虫駆除等の対応が1件実施された。 <p>【利活用の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用を図ることを目的とした空き家バンクの運用を行った。登録件数増加策として広報紙への掲載や固定資産税納税通知書封筒を利用して周知し、令和6年度中の新規登録は1件だった。 ・（公社）神奈川県宅地建物取引業協会横須賀三浦支部の協力を得て、空き家相談会を2回実施し、6組（1回目：3組、2回目：3組）の参加があった。 ・（一社）かながわFP生活相談センターの協力を得て、空き家相談会を2回実施し、7組（1回目：4組、2回目：3組）の参加があった。 <p>【空き家等対策協議会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家等対策計画の実施に関する協議及び空き家等対策計画の改定に向けた協議や意見聴取等を行うため、空き家等対策協議会を2回開催した。 				
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果				
No	事業名	主な取組・成果	No	事業名	主な取組・成果
1	空き家対策事務事業	空き家等対策協議会の開催：2回 空き家相談会の開催：4回	2		
3			4		

施策評価シート

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	適正に管理されていない空き家等の対前年度末比減少数(件)	備考					
H29	2	実績値					
H30	5	実績値					
R01	8	実績値					
R02	9	実績値					
R03	14	実績値					
R04	7	実績値					
R05	9	実績値					
R06	7	実績値					
R06	4	目標値					
R07	4	目標値					
達成状況	○						
KPIの分析	<p>・適切に管理されていない空き家が解体等により7件減少した。解体等された7件は全て市が所有者等に対する指導を実施したものであり、空き家対策の効果が表れている。</p>						(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)
KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <p>①所有者に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の相続人がおり、管理者がはっきりしない、或いは、相続人の中で調整がつかない。 周辺への影響などの問題意識が不足している。 使用していない家屋の解体や維持管理に金銭的な負担をかけられない。 高齢による施設入居等によって管理が出来なくなり、管理の依頼もしていない。 解体により固定資産税の住宅用地特例が解除され、課税額が増額するため解体をしない。等 <p>②土地・建物に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 接道義務を満たさず建替えが出来ない。 敷地が狭く浄化槽を設置できない 売却等を検討しても市場での流通がしにくい。等 						
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>①所有者に関する課題への改善策・手法</p> <ul style="list-style-type: none"> 所有に対する責任を再認識してもらうことが重要であり、引き続き、次のとおり所有者等への啓発活動を実施する。 【発生予防】 <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページを活用し、空き家対策に関する情報提供を行う。 死亡届や転居届が提出された際、空き家情報冊子を配布する。 【適切な管理の促進】 <ul style="list-style-type: none"> 所有者に対して文書や直接訪問により対応を求める。 【利活用の促進】 <ul style="list-style-type: none"> 空き家バンクの運用を行う。市が把握している空き家所有者に対する周知を行い、登録件数の増加を図る。 空き家相談会を実施する。参加者からの評価が高く、空き家の利活用等について検討するきっかけづくりとなることから、回数を維持し(各団体2回・計4回)、所有者から対応に困っているという相談があった場合は、積極的な参加を促す。 維持管理が難しい状況となっている空き家については、所有者等による解体を促進するため、補助制度の実施を検討する。 <p>②土地・建物に関する課題</p> <p>【利活用の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 接道規制や用途規制の合理化を図ることにより、空き家の建替えや利活用の促進が図られるよう、空家等活用促進区域の設定を検討する。 排水処理などの課題に対応することにより、空き家の建替えや利活用の促進が図られるよう、現在導入検討中の公共浄化槽事業の取組などとの連携を検討する。 <p>※上記①②の取り組みは、今年度改定予定の空家等対策計画に位置づけ、引き続き、「発生予防」、「適切な管理の促進」、「利活用の促進」の3つの基本方針に基づき、空き家対策を推進する。</p>						

施策評価シート

内部評価結果	
施策の 評価	5 目標達成しています。

外部評価（2次評価）			
施策の 評価	5 目標達成しています。	主な 意見	・主な意見なし

施策評価シート

基本目標	基本目標達成を支える基盤整備	数値目標	-	-
			-	-

施策No.	基本的方向	評価実施年度		
13	市民交流拠点の整備など市民の文化活動が活発に行える場を充実し、文化活動に参加する市民を拡大します。	2025	R07	
具体的な施策	県立三崎高等学校跡地について、市民交流センターや図書館等の公共的機能と民間施設から成る「市民交流拠点」として利活用を図るため、民間事業者と協働し段階的に整備します。	評価担当部課	市長室 上下水道部 下水道課	
事業名	市民交流拠点整備事業 市民交流拠点整備事業（道路整備） 市民交流拠点整備事業（公共下水道整備）	事業費	年度	事業費予算額 （千円）
				事業費決算額 （千円）
				予算執行率
			R03	205,663
			R04	145,820
			R05	167,597
			R06	843,889
			R07	2,272,923
			計	3,635,892
				787,760
				/

施策評価シート

内部評価（1次評価）					
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫 (実 績)	<p>1：市民交流拠点整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立三崎高等学校跡地B2地区における三浦市市民交流拠点整備事業公共施設建設工事（設計・施工一括）について、設計業務が完了した。 ・工事に必要な許認可を受け、令和6年9月20日から地区内の地盤整備工事に、令和7年2月17日から市役所等の建築工事に、それぞれ着手した。 ・なお、令和7年1月22日に変更工事請負契約を締結した。主な変更は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ①契約金額の増額 工事内容の変更、賃金水準及び物価水準の変動等に伴うもの。 ②工期の延長（当初：令和8年3月13日まで 変更後：令和8年11月13日まで） 建設現場における4週8閉所の厳格化等によるもの。 ・また、民間施設等整備用地に関する定期借地権設定契約の締結に向けて、事業者等と協議を行った。 <p>2：市民交流拠点整備事業（道路整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立三崎高等学校跡地B2地区における市道473-3号等の延伸整備等について、令和6年8月中旬に工事着手した。 ・先行して行っている下水道工事の遅れの影響を受け、当初工期（令和7年3月31日まで）を約3か月延長することとなった。 <p>3：市民交流拠点整備事業（公共下水道整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域を下水道事業計画区域に位置づけ、公共下水道施設の設置工事に着手した。 				
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果				
	No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名
1	市民交流拠点整備事業	公共施設建設に関する設計の完了：1件 公共施設建設に関する工事の着工：1件 民間施設等整備用地に関する定期借地権設定契約の締結：0件	2	市民交流拠点整備事業（道路整備）	引橋地区市道473-3号線外道路整備工事の完了：0件
3	市民交流拠点整備事業（公共下水道整備）	公共下水道施設設置工事の完了：0件	4		

施策評価シート

KPIの進捗状況						
年	KPI①		KPI②		KPI③	
	三崎高校跡地B地区の整備に向けた進捗	備考		備考		
H29	-	実績値				
H30	-	実績値				
R01	-	実績値				
R02	-	実績値				
R03	未実施	実績値				
R04	事業者募集	実績値				
R05	事業者契約	実績値				
R06	(基盤整備の工事実施)	実績値				
R06	基盤整備の工事実施	目標値				
R07	事業者による工事着工	目標値				
達成状況	○					
KPIの分析	KPI① ・令和6年度の目標値としていた基盤整備の工事実施については、予定どおり進捗した。 ・また、令和7年度の目標値としていた新庁舎等の工事着工を令和6年度中に達成した。					
KPI達成に向けた改善策・手法	KPI達成に向けた課題 1：市民交流拠点整備事業 ・民間施設等のテナント及び当該民間施設等の整備を行う事業者を早期に決める必要がある。 2：市民交流拠点整備事業（道路整備） ・工期延長が生じないよう、他の関連工事との調整を図る必要がある。 3：市民交流拠点整備事業（公共下水道整備） ・製品納入及び地元調整に時間を要したため、令和6年度中に公共下水道施設の設置工事が完了できなかった。					
	今後行う改善策・手法 1：市民交流拠点整備事業 ・工程管理を綿密に行い、変更工期（令和8年11月13日）までに新庁舎等の建設工事を完了し、市役所等の移転に取り組んでいく。 ・民間施設等整備用地に関する定期借地権設定契約の締結に向けて、事業者と連携・協力して取り組んでいく。 2：市民交流拠点整備事業（道路整備） ・他の関連工事との調整を図り、工期内に道路工事を完了させる。 3：市民交流拠点整備事業（公共下水道整備） ・地元調整を早急に行い、令和7年6月までに、公共下水道施設の設置工事を完了させる。					

施策評価シート

内部評価結果	
施策の 評価	5 目標達成しています。

外部評価（2次評価）			
施策の 評価	5 目標達成しています。	主な 意見	・新庁舎の供用開始にあわせて図書館の完成ができるよう民間施設建設の調整を進めてもらいたい。

施策評価シート

基本目標	基本目標達成を支える基盤整備	数値目標	-	-
			-	-

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07																												
16	窓口における来庁者に対する迅速かつ丁寧な対応を実践します。 インターネットをはじめとするITツールやその他の業務システムの整備とその有効活用により、業務管理と労働力にかかる費用を抑制します。	2025	R07																												
具体的な施策	三浦市DX推進計画に基づき、デジタル技術を活用した取組を実施します。 マイナンバーカードの読み取りや職員が申請書作成を行う「書かない窓口」システムを導入することで、手続きに要する時間を短縮し、住民サービスと業務効率の向上を図ります。併せて、既存住民記録システムとの連携を構築し、入力業務の効率化と作業時間の短縮を図ります。 また、文書管理の様々な課題を解決し、より効率的な業務体制を実現するため、文書管理・電子決裁システムを導入します。	評価担当部課	政策部 デジタル課																												
事業名	DX推進事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #f0e6ff;">年度</th> <th style="background-color: #f0e6ff;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0e6ff;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #f0e6ff;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">R03</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R04</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R05</td> <td style="text-align: center;">83,191</td> <td style="text-align: center;">80,389</td> <td style="text-align: center;">96.6%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R06</td> <td style="text-align: center;">18,975</td> <td style="text-align: center;">17,117</td> <td style="text-align: center;">90.2%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R07</td> <td style="text-align: center;">33,194</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">135,360</td> <td style="text-align: center;">97,506</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	R03				R04				R05	83,191	80,389	96.6%	R06	18,975	17,117	90.2%	R07	33,194			計	135,360	97,506	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
R03																															
R04																															
R05	83,191	80,389	96.6%																												
R06	18,975	17,117	90.2%																												
R07	33,194																														
計	135,360	97,506	/																												

施策評価シート

内部評価（1次評価）					
R6年度の主な取組と工夫	1：DX推進事業 ・三浦市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進計画に基づき、デジタル技術を活用した取組を実施した。 ・昨年度導入した住民異動受付支援システム「書かない窓口」を本庁に続き、南下浦出張所及び初声出張所へ展開し、さらなる住民サービスと業務効率の向上を図った。				
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	DX推進事業	DX推進事業に関するシステム（書かない窓口、文書管理・電子決裁、LINE、キャッシュレス決済、AI・RPA）の運用：5件 AI-OCR実施数：2件 RPAシナリオ配布数：4件 ノーコードツールに関する庁内向け研修会の開催：1回	2		
3			4		
5			6		

施策評価シート

KPIの進捗状況										
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI④		KPI⑤	
	転入手続きに要する時間(分)	備考	転居手続きに要する時間(分)	備考	転出手続きに要する時間(分)	備考	住民異動に係るサービスの利用者数(人)	備考	書かない窓口システムへの住民満足度(%)	備考
H29	-		-		-		-		-	
H30	-		-		-		-		-	
R01	-		-		-		-		-	
R02	-		-		-		-		-	
R03	-		-		-		-		-	
R04	-		-		-		-		-	
R05	49	実績値	41	実績値	19	実績値	191	実績値	97	実績値
R06	47	実績値	40	実績値	18	実績値	1,455	実績値	99	実績値
R06	40	目標値	32	目標値	16	目標値	3,000	目標値	75	目標値
R07	38	目標値	30	目標値	15	目標値	3,500	目標値	80	目標値
達成状況	×		×		×		×		○	
KPIの分析	<p>・書かない窓口システム導入後における転入、転居、転出手続きに要する時間は47分、40分、18分で、すべての手続きにおいて、目標は未達成であった。</p> <p>・昨年度の実績と比べると、すべての手続きにおいて、わずかではあるが、より時間を短縮することはできた。</p>						<p>サービスを利用しない場合を含む住民異動届作成総数自体が想定を下回ったため、相対的に利用者数も目標を下回った。</p>		<p>満足度調査回答者は昨年度より増えたが、依然として不満とする回答はなく、サービス全体を通して高い満足度を維持できている。</p>	
KPI達成に向けた改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <p>・書かない窓口は転出証明書等の読み取りや住民情報複製データの活用により、職員がシステムにて住民異動届書を作成するとともに関連する手続きの申請書の作成も行うため、住民は本人確認と必要最低限の項目を所定用紙に記入するだけで、何度も同じ情報を書き直すことなく各種手続きができるようになる。そのメリットがある一方で、対応する職員は一人の住民の手続きが終わるまで付きっきりになってしまう。そのため、窓口が混雑した際には、従前のような複数の住民の要件を聞き取り、並行して手続きを進めるというやり方が出来なくなること、住民の待ち時間が増加してしまうことがある。それを避けるため、特に様々な手続きの受付をする出張所において、書かない窓口を利用せず従前のやり方を選択することが多く、利用者数未達の要因の一つとなっている。</p>									
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>・基幹システムの標準化により、令和8年度までに転出証明書に記載されることとなる二次元コード(QRコード)の読み取りを可能とするシステム改修を行うことで、転入手続きの更なる処理時間の短縮及び事務処理の効率化をすすめる。</p> <p>・それに伴い、サービス利用率も向上すると考えている。</p>									

施策評価シート

内部評価結果	
施策の 評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

外部評価（2次評価）			
施策の 評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主な 意見	・主な意見なし

No.	事業名称等	事業実施年度	評価実施年度	交付金種別
1	三浦半島魅力深化プロジェクト事業	令和6年度	令和7年度	デジタル田園都市国家構想交付金

1 事業計画概要
<p>(1) 三浦半島魅力深化プロジェクト事業 令和2年度～令和6年度に地方創生交付金を活用して、三浦半島魅力深化プロジェクト事業（三浦半島4市1町広域連携による事業）を行うもの。</p> <p>横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市及び葉山町で構成される三浦半島地域は、県内で最も早く人口減少社会と超高齢社会が到来した地域である一方で、都心への通勤が可能な40～60km圏内にありながら、豊かな自然や歴史と文化に育まれた多彩な資源を有しており、「都心から1時間のマリンリゾート」として他の地域にはないポテンシャルを有している地域である。</p> <p>平成28年度から「三浦半島魅力最大化プロジェクト推進事業」として、観光産業の活性化を通じて、地域経済の活性化と人口減少等への対応を図ってきたが、観光面では一定の成果が出始めているものの、人口減少には歯止めがかかっていない状況である。</p> <p>三浦半島魅力最大化プロジェクトは、元々「観光の魅力」と「半島で暮らす魅力」の2つを大きな柱に据えており、これまでの取組で、観光については推進していく体制も整いはじめたことから、次のステップとして、「半島で暮らす魅力」を構成する「働く魅力」と「住む魅力」の向上に取り組み、生産年齢の転出の抑制及び転入者の獲得を目指す。</p>

2 三浦市の構成事業令和6年度実績（小事業ごとの決算額、主な取組と工夫、主な成果）			
小事業名	決算額 (千円)	主な取組と工夫	主な成果
1 海業推進事業	5,000	<ul style="list-style-type: none"> 海の駅の魅力・まちの魅力を広域的に発信することを目的として(株)三浦海業公社が実施する「みうら・みさき海の駅“うらり”セールスプロモーション」を支援した。 うらりマルシェを拠点とするイベントとしては、海業発祥のまちとして情報発信を行う「海業フェスタ@みうらみさき海の駅」が開催され、他にもうらりマルシェのデッキを活用した集客イベントが開催された。 また、姉妹都市である須崎市や道の駅・海の駅との連携による集客プロモーションイベントが実施された。 (一社)みうら学・海洋教育研究所と連携により、市内の小中学生が海に親しむ機会の創出に取り組み、市内の小中学生が三浦市の海の魅力を再発見するとともに、海の魅力を発信する市民の増加を図り、海の駅「うらり」のみならず、三浦市の魅力の発信力の強化が図られた。 	市外向けプロモーションイベントの実施：1回 (一社)みうら学・海洋教育研究所との連携事業実施：1件
2 三崎漁港グローバルブランディング戦略実践事業	2,972	<ul style="list-style-type: none"> 「かながわブランド」に登録された「三崎黒潮キンメ」の特徴を伝えるPR短編動画資料を作成して宣伝することで、キンメダイの輸出促進と「三崎」ブランドの浸透を図った。 地域の衛生管理の意識を向上させるとともに、輸出促進や国内取引の推進に向けた基礎的な体制の構築を資することを目的とし講習会を開催した。 	三崎黒潮キンメのPR動画の作成：1件 衛生管理に関する講習会：1件
3 みうらの魅力発信事業	1,000	<ul style="list-style-type: none"> 横須賀市津久井浜海岸で開催される「ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」の実行委員会に参画し、大会を開催した。(会場来場者数33,000人) 	ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会の開催：1回
4 移住定住促進事業	20,328	<ul style="list-style-type: none"> 「新海業プロジェクト」については、審査講評及び三崎漁港（本港地区及び新港地区）海業振興を目指す用地活用プロジェクト実施事業者選定審議会を開催し、興和グループを優先交渉権者に決定した。その後、優先交渉権者、関係機関との協議を進め、令和7年3月に優先交渉権者と三崎漁港（本港地区及び新港地区）海業振興を目指す用地活用プロジェクト基本協定を締結した。 「三崎漁港グランドデザイン推進会議」を2回開催し、「新海業プロジェクト」の情報を共有するとともに、「三崎漁港グランドデザイン」アクションプランのブラッシュアップを行った。 セレノネインの普及促進については、三浦商工会議所に業務委託し、まぐろ末病改善効果研究会と連携し、「茜身」を使用したメニュー開発や「三浦海岸桜まつり」「三浦国際市民マラソン」等のイベント会場でのプロモーションを実施した。 神奈川県主催の移住セミナー（オンライン）に2回（うち1回は市単独）参加した。 「三浦移住学」講座を2回開催し、第6期（令和6年11月30日）14名、第7期（令和7年2月22日）13名、合計27名の参加があった。 移住相談窓口、移住セミナー及び移住講座における移住相談に対応した。（移住相談131件） 移住定住冊子「MIURA」をふるさと回帰支援センター（東京都千代田区）や市内各施設等に配架する等、本市への移住及び定住をPRした。 	三崎漁港グランドデザインに基づく事業の検討や実施：1件 移住相談窓口での相談件数：115件
三浦半島魅力深化プロジェクト事業	29,300	うち、「地方創生推進交付金」14,650千円	

3 KPIの分析						
交付金KPI① <※第1分科会>			交付金KPI② <※第1分科会>			
KPI名称	鎌倉市を除く3市1町の観光客消費額		分析	KPI名称	三浦半島地域における各種イベント参加人数	
目標(R6)	31,001	百万円		目標(R6)	163,000	人
実績(半島)	未確定	百万円		実績(半島)	558,902	人
実績(市)	8,682	百万円		実績(市)	10,614	人
交付金KPI③ <※第2分科会>			交付金KPI④ <※第2分科会>			
KPI名称	三浦半島4市1町の生産年齢人口の社会増減数		分析	KPI名称	県民ニーズ調査における「現在のところに住み続けたい」と思う人の三浦半島地域の割合	
目標(R6)	△ 592	人		目標(R6)	73.0	%
実績(半島)	△ 1,238	人		実績(半島)	62.5	%
実績(市)	△ 202	人		実績(市)	—	%

4 三浦市の構成事業の課題と今後の改善策・手法	
小事業名	課題と今後の改善策・手法
1 海業推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「海業発祥のまち」として、「海業」を前面に打ち出した集客プロモーション等をメディアを活用し効果的に取り組むことにより、入込観光客数の増加と観光客消費額の増加を図る。
2 三崎漁港グローバルブランディング戦略実践事業	<ul style="list-style-type: none"> ・三崎漁港の水産物の輸出拡大を目指すため、海外マーケットにおける三崎ブランドの認知度が低いことを輸出の大幅な増となっていない。 ・また、海外の衛生管理基準に対応するため、漁業関係者の衛生管理意識の向上が課題である。 ・こうしたことを受けて、インターナショナルシーフードショーに出展し、これまで作成してきたPR資材を活用しながら「三崎」の水産物を宣伝、国際的な三崎ブランドの認知度向上に努め輸出増に寄与する。 ・また、引き続き、漁業関係者を対象とした衛生管理講習を行い輸出増加の基盤を強化する。
3 みうらの魅力発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心なイベントを開催し、一年を通じて定期的に来訪するきっかけづくりを進めることが課題である。 ・また、イベントの開催に当たっては、昨今の物価高騰などの影響から、従来の開催手法が難しくなっている。 ・こうしたことを受けて、今後引き続き、既存の手法に拘らない新たな手法を検討し、安全で安心なイベントの開催に努める。
4 移住定住促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「三崎漁港ランドデザイン」及び「アクションプラン」を推進することにより、関係人口の増加を図る必要がある。 ・また、移住定住希望者への効果的なPR展開や移住相談への対応方法を充実させる必要がある。 ・関係人口の増加を図るため、「三崎漁港ランドデザイン推進会議」において、関係団体との情報共有や意見交換を行い「三崎漁港ランドデザイン」及び「アクションプラン」の進行管理を行うとともに、「新海業プロジェクト」については、基本協定締結事業者と連携し、事業契約に向けた関係者調整等を進める。 ・神奈川県主催の移住セミナーに引き続き参加し、三浦市に移住した先輩移住者等をゲストに招き、移住定住のPRを民間事業者や移住者と連携して実施する。 ・セミナー等の参加者へのアンケート調査結果などにより移住希望者のニーズを把握し、次回のセミナー等のほか、その他の移住定住施策に生かす。 ・令和7年度も引き続き移住講座を年2回開催する。 ・県が主体となり三浦半島魅力最大化プロジェクトの一環で実施する三浦半島移住コンシェルジュと連携を図り、移住相談や現地案内等を充実させていく。 ・物件に関する相談に対し、不動産事業者や民間で移住支援を行っている事業者等、空き家対策との連携も含め、関係者と情報を共有し、効果的な取組について検討を行っていく。 ・結婚支援事業で実施している若い新婚世帯への補助金事業について、移住定住の促進も図れるよう、連携して取り組んでいく。

5 三浦市の評価					
(1) 内部評価					
事業の評価	3 地方創生に相当程度効果があった	評価の理由 KPIの数値目標は達成できておらず課題は残るものの、KPI②④は上昇傾向であり、事業の効果が相当程度あったと評価できる。	事業の評価	3 地方創生に相当程度効果があった	主な意見 ・主な意見なし
	今後の方針	本交付金の事業は令和6年度で終了するものの、今後も三浦半島4市1町で連携した取組みを実施していく。			